

### 3-3 基本設計

#### 3-3-1 設計方針

本プロジェクトの施設設計基準については、事前調査の際に「ブ」国側との間で合意された内容に基づき、以下の方針に基づいて計画を行なうものとする。

- (1) 学校の施設仕様は、「ブ」国の学校建設基準に準ずること。
- (2) カリキュラムの検討に基づき、教育施設として必要最低限の仕様を満足したものとすること。
- (3) 予想される自然災害（洪水、暴風等）に十分耐え得る設計とすること。
- (4) 現地調達資材での建設を原則とすること。
- (5) 現地の建設技術により建設し、維持管理できるものとすること。
- (6) 施設の維持管理はMEBAMの監督下、地域住民組織が行なうものとするが、維持管理が容易でメンテナンスコストのかからない施設設計、機材選定を行なうこと。
- (7) 短期間に数多くの学校建設のため教室数に応じたプロトタイプの極力簡易な設計とすること。

なお、本プロジェクトの協力内容は、前記「3-2-2」に示すとおり、教室と生徒用便所の建設、および基礎教育備品の供与とする。以下に、その計画を行なうにあたっての設計条件の検討を示す。

#### 3-3-2 設計条件の検討

##### (1) 施設の内容・規模設定の方針

###### 1) 教室（プロトタイプの検討）

本プロジェクトは、短期間に数多くの小学校を均一に建てる必要があり、必要とされる教室数に応じてプロトタイプを設定することとする。

以下に世銀タイプおよび、アフリカにおける我が国の類似無償案件を分析した結果を述べる。特に現在実施中の世銀「教育計画4」タイプは、これまで「ブ」国で実施された世銀プロジェクト1～3、OPEC、BIDなどの援助による小学校建設計画などの経験を踏まえ、改良を加えてまとめられたものであり、本件の実施にあたっては、この「教育計画4」タイプを参考に、日本の無償資金協力システムに添う計画を行なう。

各タイプは、建設の容易さ、建設後の維持管理の容易さを優先課題として計画されている。「表3-3」に各タイプを比較検討した結果を示すが、各タイプは、現地在来工法を基本として計画されており、これは、現地で調達可

能な建設資材の最大限の利用、施工の容易さおよびコストの低減等を考慮したことによるものと思われる。本件においてもコスト面、施工面で現地の事情に適合している在来工法を採用することとする。以下に他案件における各プロトタイプの特異点、問題点等について検討する。

① 工法・仕上げ : 各タイプとも、現地の在来工法を基本としており、柱、梁は、鉄筋コンクリート構造とし、壁材料はコンクリートブロックを使用している。世銀「教育計画4」では、壁厚として厚さ15cmの無筋空洞コンクリートブロックを採用しているが、本件においては構造強度を上げ、耐久性を確保するために、厚さ20cmのコンクリートブロック積みの上、仕上げは内外共、モルタル塗りの上ペイント塗装とした。

② 建具・開口部 : 世銀タイプ、およびアフリカにおける我が国の類似無償案件ともに、開口部にルーバー付鋼製扉および鋼製窓を採用している（地域によっては穴開きコンクリートブロックを利用しているが、砂塵等の侵入がない地域に限られている）。これは、アフリカにおける気候・風土および維持管理を考慮して、木製品やガラスを使用した建具に比べ耐久性が高いと考えられる。さらに可動式ルーバーとする事により、強風時には、閉鎖して砂の侵入を防ぐ構造となっている。室内が暗くなる点についての対策として、検討した結果、壁面の上部に採光用ガラスブロックを用いることとする。

③ 屋根 : 屋根については、現地調査の結果、世銀「教育計画4」タイプでは、片流れタイプの屋根が提案されている。切妻タイプも検討したが、本件においては、施工が容易で、かつ比較的成本がかからないことから、片流れタイプの採用を考えることとする。屋根の構造は、直射光による室内の温度の上昇等が懸念されるため、断熱対策から天井を設けた。

屋根の材料については、世銀のプロジェクトにおいては、厚さ6/10の波型アルミ板が使われている。しかし、波形アルミ材料の強度等を検討した結果、将来の維持管理の容易さ、耐久性、断熱性、防音性等を考慮し、隣接する象牙海岸国においてアフリカ開発銀行の「教育計画4」プロジェクトで採用されているファイバーセメント材による波板の採用を計画する。

- ④ 天 井 : 世銀「教育計画4」タイプおよび他の案件においては、天井は設置されておらず、屋根材あらわしとなっている。これは、建設コストの低減のためであると考えられるが、天井を張ることにより、屋根の直射光による室温上昇の影響を軽減し、昼間の授業の環境を向上させることとし、これを採用した。これにより二部制の授業が可能となる。
- ⑤ そ の 他 : 強風による建物周辺の表土の移動による地盤面の変化および、雨期における水害対策、地面からの輻照射等を考慮し、設計上の床面は地盤面より600mm高として計画する。「ブ」国においては、1994年の洪水で被災した小学校もあり、地盤状況を考慮し、基礎の深さの決定には注意が必要であるため、本件においては、基礎の深さを800mmと設定する。また、防犯のため、窓、扉を強固な鋼製とし、扉は錠付とする。

## 2) 生徒用便所

世銀タイプの便所は、肥溜式、ユネスコタイプ換気式非水洗トイレである。乾期に糞尿は乾燥するため、それを掘り出して除去し、畑の肥料として利用している。便所ブースは、コンクリートブロックモルタル仕上げで、耐久性を考慮し、壁をコの字型に配置し、視線を遮るようにしている。このため扉は設置されない。OPECタイプにおいては、生徒用便所は屋根付であるが、世銀タイプではブース部分のみ屋根が設置されている。本件においてはブース部分のみに屋根を設置することとする。

なお、他ドナープロジェクトにおける生徒用便所は、1教室当たり男女各1ブース、3教室では6ブースを設ける場合が多いため、本プロジェクトにおいては、1～3教室タイプがあるが、既存教室を合わせ、同様に3教室に対して6ブースを基準とする。

## (2) 各室規模（ユニット）の検討

施設計画の策定にあたり、基本となる必要かつ最小限の各教室規模（ユニット）の検討は、全体の規模およびコスト計画を行なう上で重要な項目の一つである。

上記の施設内容および教室数の検討を踏まえ、既存施設の状況、世銀タイプおよびアフリカにおける類似施設の各教室規模を考慮した結果、本件における各室の規模を以下のとおり設定する。

## 1) 教室

他案件の状況を見ると、世銀「教育計画4」の教室の規模は、内法寸法で  $9.5\text{m} \times 5.2\text{m} = 49.4\text{m}^2$  で、収容児童数は54人、1人当たりの面積は  $0.92\text{m}^2$  である。アフリカにおける他の我が国の無償案件の場合は、ギニア共和国およびセネガル共和国で1人当たり  $1.26\text{m}^2$ 、ニジェール共和国で1人当たり  $1.02\text{m}^2$  となっており、世銀「教育計画4」タイプの教室規模は非常に狭く、就学児童の体感温度を高めたり、通路および開口部が一部閉鎖されてしまうなど機能的な問題を生じている。したがって、本件においては、2部制および複式授業等、将来的にも定員を上回る利用が考えられることから、教室はこれらの例および家具レイアウト等を考慮し、内法寸法で  $8.75\text{m} \times 6.70\text{m} = 58.625\text{m}^2$  (定員45人の場合1人当たり  $1.3\text{m}^2$ ) とする。下図に教室のレイアウト例を示す。

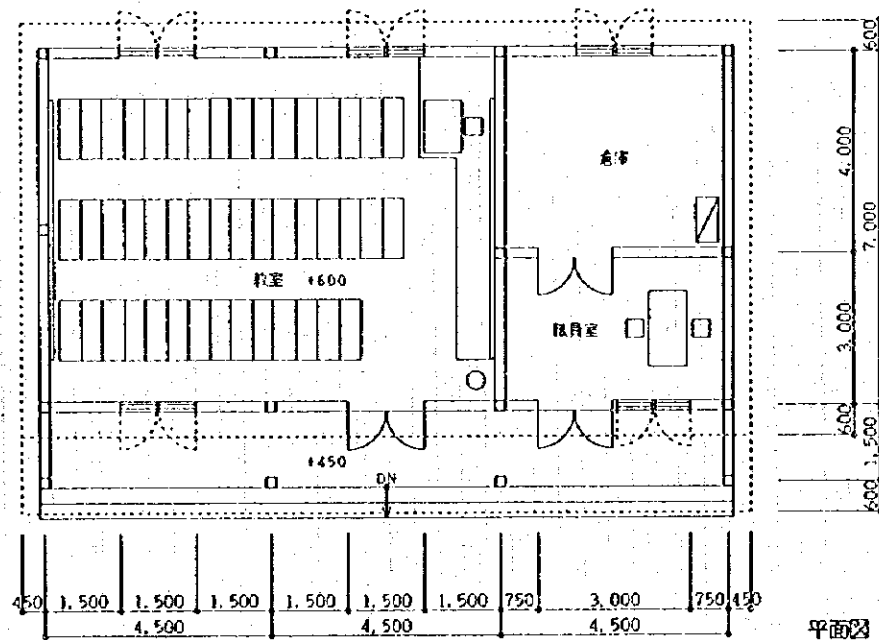


図3-1 教室

## 2) 職員室

職員用のスペースについては世銀「教育計画4」タイプおよび、ギニア共和国の小学校の場合、面積は  $9.3\text{m}^2$  であり、3人程度の職員で使用している。ニジェールの学校の場合については  $20.25\text{m}^2$  と広がっているが、これは10人程度の職員を想定したものである。本件においては、これらの状況を参考

としつつ、3人用で $4.5\text{m} \times 3\text{m} = 13.5\text{m}^2$ （1人あたり $4.5\text{m}^2$ ）として職員室を計画する。これは、世銀タイプにおいては、通常教員宿舎が職員室の機能も果たしているが、本件では教育の質の向上のためには、住空間と執務空間は分離する必要があること、授業の準備作業のスペースが教室の近くに必要であること等を考慮したことによる。

### 3) 倉庫

世銀のP4タイプでは約 $14.5\text{m}^2$ 、近隣諸国の同様プロジェクトでは $9.3\text{m}^2 \sim 12.3\text{m}^2$ とばらつきが多いが、本件では3教室の2部制授業を計画の前提とし、6クラス分の書類保管（スチールロッカー3個分：約 $6\text{m}^2$ ）、教材・教具置場（約 $6\text{m}^2$ ）、運動用具置場（約 $6\text{m}^2$ ）を考慮し、計 $18\text{m}^2$ を最低限の必要面積としている。

### 4) 生徒用便所

今回の調査対象校のうち、便所が現存する学校は少なく、特にコンクリートブロック造等の便所が現存するものは6校にすぎなかった。しかし、児童への衛生教育が必要とされるという観点からも便所の設置は非常に重要とされ、世銀「教育計画4」と同様に各クラスあたり男女各1ブースを基本として、各校に対し6ブース（1ユニット）を建設することとする。

### 5) 教室を含むその他諸室の面積算定規準

教室に関しては前項に記したが、その他必要な諸室の面積算定規準は、検討結果のみを次表に示す。

表3-3 各室の面積算定規準（アフリカにおける類似無償案件による）

	ギニア共和国 平成2年11月	セネガル共和国 平成3年8月	ニジェール共和国 平成5年11月	世銀タイプ	本計画での採用値
教室	都市型（50人クラス） $7.0 \times 9.0 = 63\text{m}^2$ 地方型（40人クラス） $6.0 \times 8.0 = 48\text{m}^2$	$7.2 \times 9.1 = 66.24\text{m}^2$ $7.0 \times 9.0 = 63\text{m}^2$ (内法)	$7.0 \times 9.0 = 63\text{m}^2$ (内法)	$9.5 \times 5.2 = 49.4\text{m}^2$ (内法)	$9\text{m} \times 7\text{m} = 63\text{m}^2$ $8.75\text{m} \times 6.7\text{m} = 58.62\text{m}^2$ (内法)
職員室	$3.0 \times 3.1 = 9.3\text{m}^2$	$3.0 \times 3.6 = 10.8\text{m}^2$	$4.5 \times 4.5 = 20.25$ 応接スペース $3.0 \times 3.0 = 9.0$	$2.7 \times 3.45 = 9.3\text{m}^2$	$4.5 \times 3 = 13.5\text{m}^2$
倉庫	都市型 $3.0 \times 4.1 = 12.3\text{m}^2$ 地方型 $3.0 \times 3.1 = 9.3\text{m}^2$	$3.0 \times 3.6 = 10.8\text{m}^2$	$11.04\text{m}^2$	$3.45 \times 4.2 = 14.49\text{m}^2$	$4.5 \times 4 = 18\text{m}^2$
生徒用便所	$2.25 \times 4.2 = 9.45\text{m}^2$	—	中学校 $36.12\text{m}^2$	(6ブース) $9.15 \times 3.3 = 30.2\text{m}^2$	(6ブース) $9.00 \times 3.0 = 27.0\text{m}^2$

### (3) 必要施設および規模

#### 1) 教室棟

##### ① 1教室タイプ

1教室 (W 9.0m × D 7.0m) + 職員室・倉庫 (W 4.5m × D 7.0m)  
+ 外廊下 ( (W 9.0m + 4.5m) × D 1.5m ) = 114.75㎡

##### ② 2教室タイプ

2教室 (W 18.0m × D 7.0m) + 職員室・倉庫 (W 4.5m × D 7.0m)  
+ 外廊下 ( (W 18.0m + 4.5m) × D 1.5m ) = 191.25㎡

##### ③ 3教室タイプ

3教室 (W 27.0m × D 7.0m) + 職員室・倉庫 (W 4.5m × D 7.0m)  
+ 外廊下 ( (W 27.0m + 4.5m) × D 1.5m ) = 267.75㎡

#### 2) 生徒用便所

① 6ブースタイプ : 9.0m × 3.0m = 27.0㎡

#### 3) 協力対象校および規模

##### ① 協力対象校

Baszga 県	Lilboure (R-03: 2教室)、Napegabteuga-Gouguen (R-04: 3教室) Nahorbogo (R-06/C-03: 1教室)、Doulougou (AD-1: 3教室)	4校9教室
Ganzourgou 県	Kossego (R-04: 1教室)、Sapaga (AD-1: 2教室)、Zourgo (AD-2: 3教室) Bolle (AD-3: 2教室)、Rapadana-T (AD-4: 3教室)	5校11教室
Bouhoun 県	Bolozakote (R-02: 3教室)、Dora (R-03: 3教室)、Secaco (R-07: 3教室) Seyou (R-09: 3教室)、Soukui (AD-1: 3教室)、Bankuy-B (AD-2: 3教室)	6校18教室
Ouhritenga 県	Goabga (R-04: 3教室)、Bilgo (R-13: 3教室)、Nedogo (R-14: 3教室) Village-V, (AD-1: 2教室)、Boulala (AD-3: 2教室)、Loubilla (AD-5: 3教室)	6校16教室
Sissili 県	Pehiri (R-09: 3教室)、Mayero (R-10: 3教室)、Baouiga (R-12/C-20: 2教室) Kebourou (R-13/C-30: 2教室)、Sapouy (R-15: 3教室)、Nanano (R-21/C-11: 2教室) Ierabole (R-27: 1教室)、Sadouin (R-29/C-24: 2教室) Katian (C-19: 2教室)、Courbiogoro (AD-2: 3教室)	10校25教室
計5県31校79教室		

注: O 内は要請書リスト番号および計画教室数を示すもので、R: 建替え、C: 正常化、AD: 追加要請を示す。  
また、アンダーラインのものは「自然災害復旧」校を示す。

## ② 協力規模

施設	校舎1教室タイプ	床面積114.75㎡	2棟	延床面積	229.50㎡
	2教室タイプ	床面積191.25㎡	10棟	延床面積	1,912.50㎡
	3教室タイプ	床面積267.75㎡	19棟	延床面積	5,087.25㎡
	生徒用便所	床面積 27.00㎡	31棟	延床面積	837.00㎡

---

計 62棟 延床面積8,066.25㎡

### 3-3-3 基本計画

#### (1) 配置計画

現地調査を行なった5県の各計画対象校についてはその敷地形状、インフラストラクチャーの整備状況、既存施設の状況等が異なるため、配置計画は、各学校毎に最適計画となるよう特に以下の点を考慮して基本計画を行なう。

- 各敷地の特性を十分に把握して、各々に最も適した、校舎および便所の配置を敷地別にできる限り綿密に検討する。
- 施工期間の短縮化を図れるよう、工事中スペース、資機材置場等を考慮した施設の配置を考慮する。既存の校舎、建物から10m以上離し、建設工事が授業の妨げにならないよう工事中スペースを十分に確保した配置計画をしている。
- 周辺施設、近隣環境を十分に考慮して、できる限り快適な教育環境、教室室内を環境を確保するよう考慮する。
- 日射および雨期（6月～9月）における風向を考慮して、建物の長辺軸を東西軸に配置し、日射および雨の進入を防ぐ。
- 切り土、盛り土等の土工事を最小限とし、相手国負担が少なくなるように計画をする。
- 河川、沼等からの水害の可能性のある場所を避けて配置する。
- インフラ整備された案件の場合、電気・水道等の引き込みを考慮して配置場所を選ぶが、本件では、インフラが整備される可能性のないことから、むしろ、使用状況、教育環境を考慮して配置計画を行なう。
- 便所の設置にあたっては、環境および衛生面を考慮し、井戸、河川等の水源から離れた位置に配置する。
- 各敷地の特性（高低差、敷地形状等）に適合した配置計画とする。
- 既存施設、道路等との関係を重視し、アクセス、使い勝手を考慮した配置を決定した。
- 年間を通じて、良好な通風・採光、防音を保てるよう隣棟間隔、建物の向きを考慮する。

- 自然環境の保持、森林保護の観点から、本件ではできるだけ既存の樹木を残すような配置計画とした。
- 運動場等に利用されるオープンスペースについては、できるだけ現状を維持する配置とした。

## (2) 建築計画

### 1) 平面計画（標準グレードの設定）

グレード設定については、世銀「教育計画4」の小学校建築設計基準は、これまでの世銀プロジェクト、OPEC、BIDなどの例を踏まえ、さらに、「ブ」国の気候風土、小学校としての機能性、コスト、完成後の維持管理等を考慮して計画している。本件においては、事前調査資料における提言に基づき、この世銀「教育計画4」の基準を尊重しつつ、以下の理由による改良を加え、「表3-4」に示すとおり、グレードを設定するものとする。

- ① 多少コストアップになるが、構造強度を向上させ、これにより耐用年数の向上を計ることにより、将来の「ブ」国、住民の維持管理費負担の軽減を図る。
- ② 改良を加えるにあたっては、将来の維持管理を考慮して現地調達可能材料を使用する。

### 2) 断面計画

断面計画にあたっては、現地様式・現地工法等を踏まえ、以下の事項を留意点として図3-2に示すとおり計画する。

- 1階床面は、雨期における水害や地面からの輻照熱を考慮して、現状地盤より高床とする。また、雨や風による建物周辺の地表面の砂の移動による設置面の変化も考慮する。
- 屋根は、2.5寸勾配屋根として、雨期の大量の雨に対して速やかに処理できるものとする。
- 開口部は、できるだけ広く取り、教室内への自然採光と通風の導入を図るとともに、強風時の砂の吹き込み、雨の侵入等を考慮した屋根・庇形状とする。強風時に窓を閉鎖する場合の採光を考慮して、壁面の上部にガラスブロックの設置を計画する。
- 軒の出を深くし、日射および降雨を遮るとともに、極力雨に濡れず各教室間を移動できる計画とする（屋外廊下の設置）。



- 一 熱射を防ぐ屋根材として、ファイバーセメント材の波板を使用し、また、断熱を計るため、天井を張ることとする。

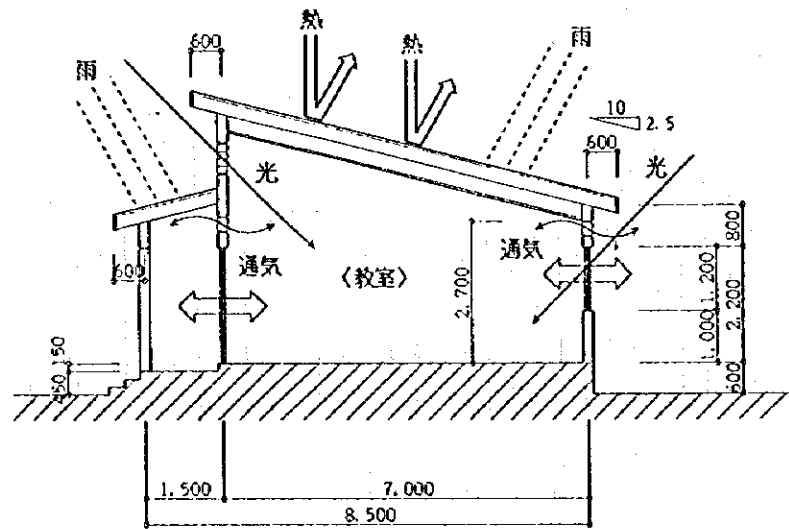


図3-2 断面計画

### 3) 構造計画

本計画の設計にあたっては、世銀等によるタイプを参考に検討し、できるだけ簡単に量産化できる構造形式、屋根構造を基本とする。さらに、現地での施工が容易で耐久性のある構造計画とする。

#### ① 構造設計基準

「ブ」国の建築に係わる制度・手続きは、基本的にフランスの制度・手続きに準じている。「ブ」国独自の構造基準はないが、世銀プロジェクトの仕様における基準に準ずるものとする。また、日本の建築基準法の諸規定および日本建築学会の構造設計基準も参考とするが、現地の建物等の状況を把握し、過剰設計とならないよう考慮する。

#### ② 地盤

本プロジェクトサイトは、首都Ouagadougouを中心として、5県に点在しており、地盤の状況は各調査対象サイトにより異なるが、「ブ」国の地質は一般的に前カンブリア紀の花崗岩質土壌（ラテライト）が露呈しており、表土はないのが普通の状態である。また、Mouhoun県の河川流域は、軟弱地盤であるが、本件の対象サイトには河川流域は含まれていないため、地盤について特に大きな問題点はないと考えられる。比較的丈夫な地盤（地耐力10トン/m<sup>2</sup>程度は見込める）がほとんどであり、基礎構造は世銀の仕様と同様、布基礎とする。

### ③ 設計荷重

長期荷重は固定荷重、短期荷重としては、風荷重を考慮する。風圧力についてはスーダン型の熱帯性気候における風圧等を考慮する必要がある。

### ④ 工法と使用材料

本件における計画施設は平屋建てのみであり、在来工法を基本とし、現地に於て一般的かつ経済的な構造形式である鉄筋コンクリート造ラーメン工法を主体とする。また、壁はコンクリートブロック組積造（ $t=200$  m/m）とする。

屋根は鉄骨梁を母屋としてファイバーセメント波板を葺く。

使用材料については、現地調達を基本するが、施工時の品質管理には十分留意する必要がある。

## 4) 設備計画

### ① 電 気（照明設備）

本件の対象サイトの大部分は、敷地近くまで配電されていないため、電気設備を使用することは難しく、また敷地近くまで配電されている場合も現状では維持管理費の負担を考えると、電気設備は不要であると判断される。そのため自然採光方式を計画するが、ルーバー開閉式窓であるが、窓を閉じた場合の室内照度を考慮してガラスブロックを使用した自然採光方式とする。

### ② 通 信（電話）

電話線についてもサイトによっては、敷地の近くまで配線されていて電話引き込み可能とされる場合もあるが、電気と同様に、料金等の支払いによる負担が大きくなるため、維持管理費の低減等の観点より、電話は設置しないこととする。

### ③ 換 気

平均気温が25～31℃と高い「ブ」国の自然条件と施設の維持管理費の節減を勘案すると、教室は自然通風を有効に利用した計画とした。したがって、本計画においては、各教室には、穴開きコンクリートブロックと可動ルーバーを両側に設けて、自然の通風を得る計画をする。ただし、強風時、砂の吹き込みを防ぐため、ルーバーは開閉式とする。

### ④ 給 水

「ブ」国の給水方式は、通常以下の水源から採水している。

- a) 上水道
- b) 井戸
- c) 泉
- d) 川

今回の調査対象学校サイトのうち、上水道が整備されているのは1ヶ所のみであり、他は、井戸、泉、川より採水している（主として飲料水）。

本計画の給水方式は、対象サイトの現状に合わせて、雨水と井戸、泉、川からの採水の併用式とする。すなわち雨季には便所の屋根で集水した水を雨桶を経て雨水貯水槽に集水し、この貯留水を手洗い用に使用する。乾季に雨水が得られない時期は、井戸、泉、川より水を貯水槽に運んで貯水し、これを使用することも可能である。また、貯水槽にはごみの侵入、藻の発生を防ぐための蓋を設置する（手洗い用水）。

また、各教室および職員室に飲料水として、井戸、泉、川等の常時飲料水として使用している水源より運び込んだ水を貯水瓶に貯水し、これを飲料水として使用する。給水設備の維持管理に関しては、学校の管理者による定期的な雨桶、貯水槽の清掃が必要である。

また、保健衛生教育の一環として、便所には手洗所を設置した（図3-3参照）。

【便所・手洗い用水槽】

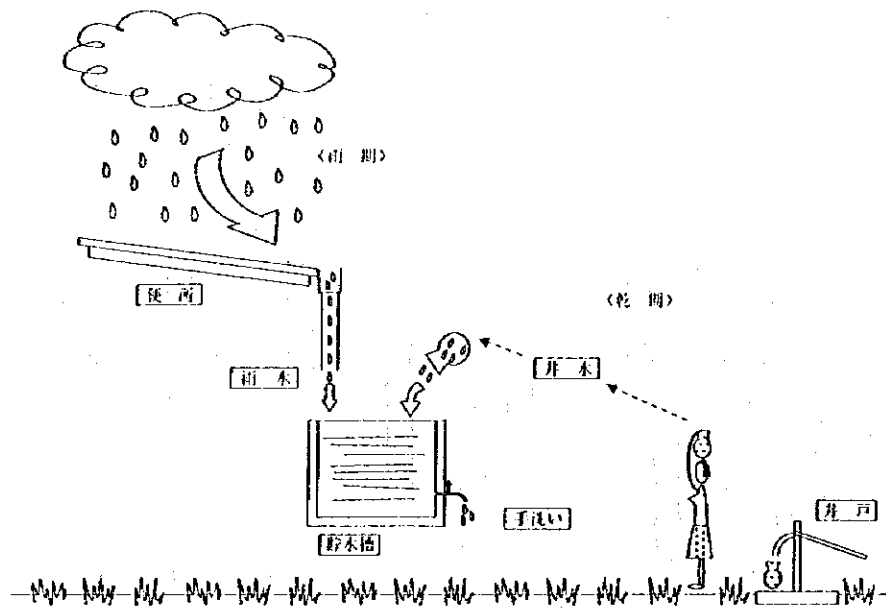


図3-3 便所手洗い用水槽

⑤ 排水（汚水排水）

今回の調査対象校サイトの便所は、浸透式で、特に乾季には糞尿は乾燥し、それを掘り出して肥料にするか、捨てるかしている。

本計画の排水方式は、基本的には従来 방식을踏襲するが、便槽の下に砂利+砂+草（地元で「象の草」と呼んでいる草が適当と思われる）を敷き、取出口を大きく取り、乾燥した糞尿の取り出しを容易にする。また、便槽には換気管を取り付ける（図3-4参照）。

便槽

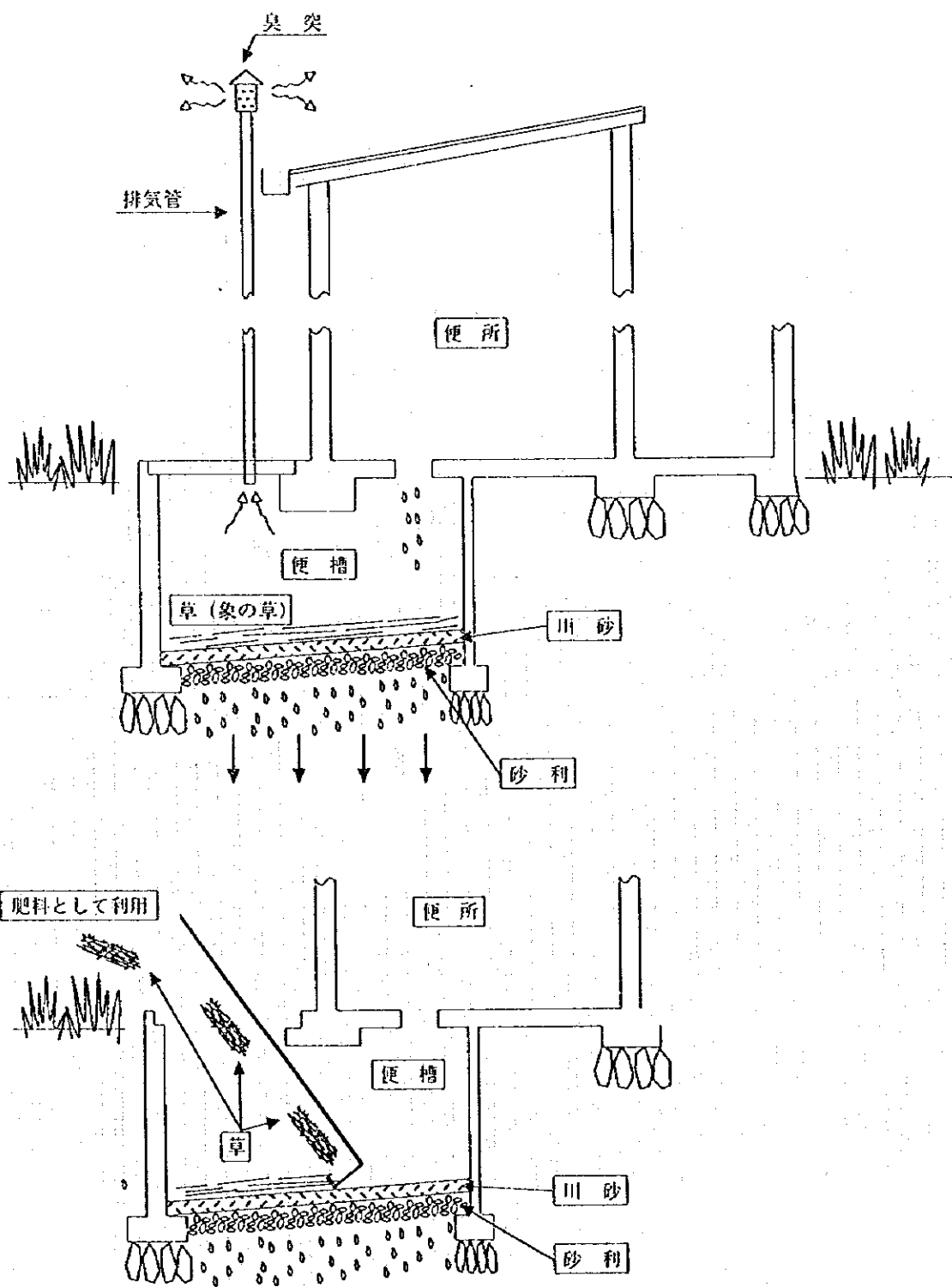


図3-4 便槽の排水計画

5) 建設資材計画

今回使用計画している建設資材のほとんどが現地調達可能であり、品質上問題は無いと判断する。本計画では、現地にて市販されている製品を調達する。建物各部位の材料・現地工法・採用工法とその理由を次表に示す。

表3-4 材料・工法等比較

	一般的現地工法	採用予定工法	採用理由
基礎	鉄筋コンクリート布基礎及び 充填コンクリートブロック 深さ 50cm	同左 深さ 80cm	自然条件、地盤状況を 考慮し、基礎の深さを 充分取る。
柱 梁	鉄筋コンクリート 主筋8mm、スターラップ6mm	同左 主筋12mm、 スターラップ6mm	--
床 躯体	—	ク	強度を上げるため
仕上	コンクリート直押さえ	ク	
外壁 躯体	無筋空洞コンクリートブロック 厚さ 15cm 一部鉄筋コンクリート補強	同左 厚さ 20cm	強度を上げるため
仕上	モルタル+塗装	同左	—
屋根 躯体	鉄骨造 (梁：I型鋼100mm、母屋： 80mm)	鉄骨造 (梁：I型鋼 140mm)	強度を上げるため
仕上	波型アルミ板、厚さ6/10	ファイバーセメン ト波板	耐久性、断熱性、防音、 防塗性を上げる。 維持管理費を削減する。
天井	なし、屋根材むき出し	ベニヤ板格子張り +塗装、通気口設 置	室温を下げ、2部授業 導入等にする午後の授 業環境向上のため
内 壁	モルタル+塗装	同左	—
建具 その他	ルーバー付鋼製扉および窓	同左	通風、採光、および防 砂等を考慮して採用

### (3) 機材計画

機材計画にあたっては、数量が多くなるため世銀の仕様を考慮の上、特に標準化、現地調達数量等を検討する必要がある。

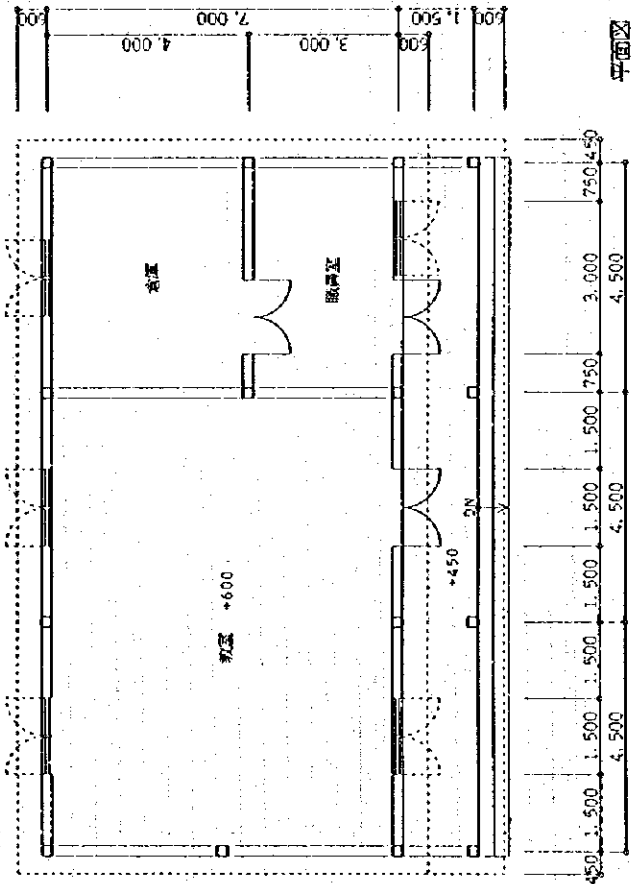
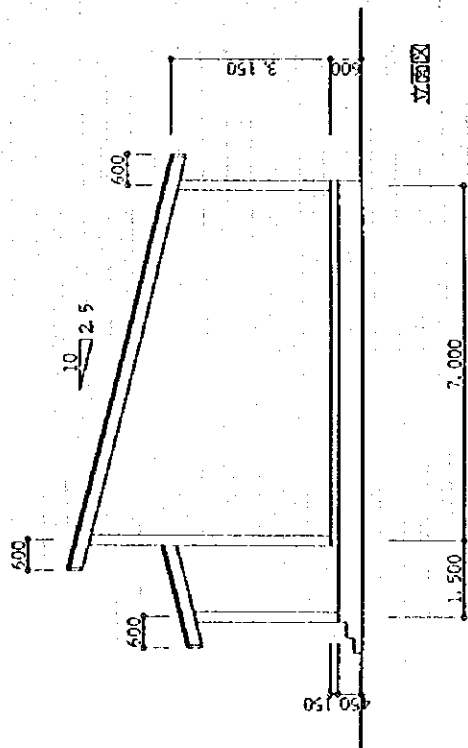
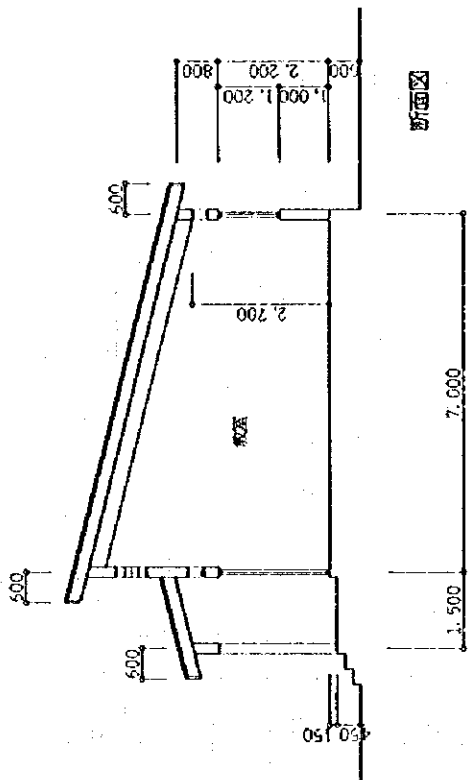
教育予算は国家予算の約25%を占めており、他国と比較しても多いが、教育予算の約63%が教員給与であり、教育機材への予算は不足している。

要請書においては、新設教室用の基礎備品として、児童用机/椅子、教師用椅子、教師用机、教師用ロッカーが要請されている。チョーク、地図やコンパス等の教具は各教室とも行き渡っているが、教科書、筆記用具等は親の負担となるため、持っていない生徒も見受けられた。

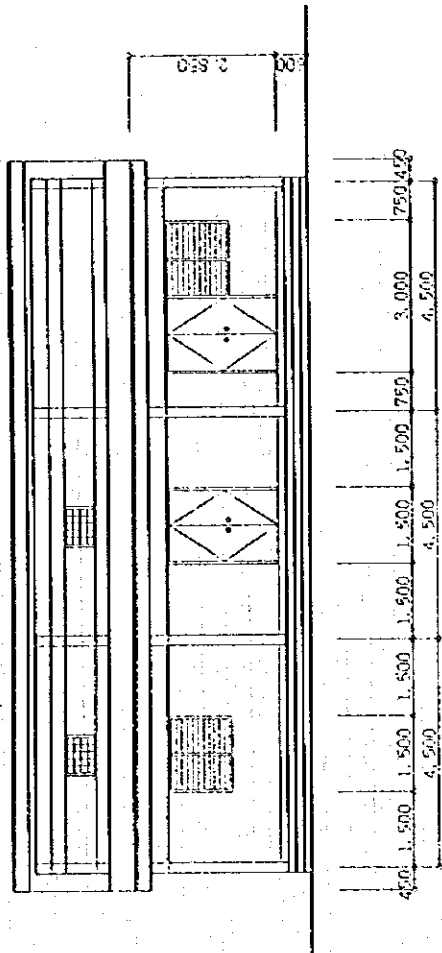
本件においては、学校教育に必要不可欠な基礎備品として、机、椅子、教師用ロッカーを計画内容とする。当初、黒板についても供与を検討したが、現地では教室の壁にモルタルを塗装して、黒板として使用しているため、本件においても同様の形態として計画する。生徒用机、椅子等は、メンテナンス等を考慮し、既存の小学校、世銀と同仕様の2人掛けとし、現地製品を調達する。表3-5に現段階における機材リストを示す。

表3-5 機材リスト

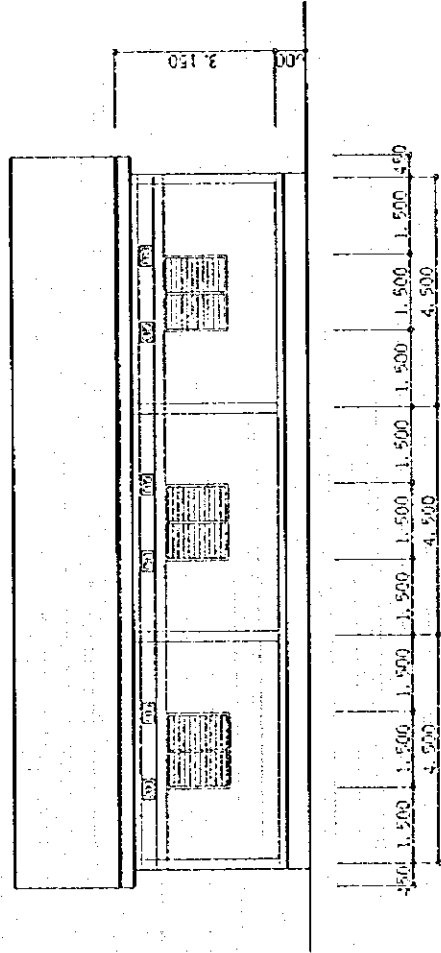
品名	単位数	対象教室数	総数量
(1) 生徒用机・椅子	23組/教室	79教室	1,817組
(2) 教師用机・椅子	1組/教室	79教室	79組
(3) 校長用机・椅子	1組/職員室(校)	31校	31組
(4) 打合せ用椅子	1脚/教室	79教室	79脚
(5) スチールロッカー	1竿/教室	79教室	79竿



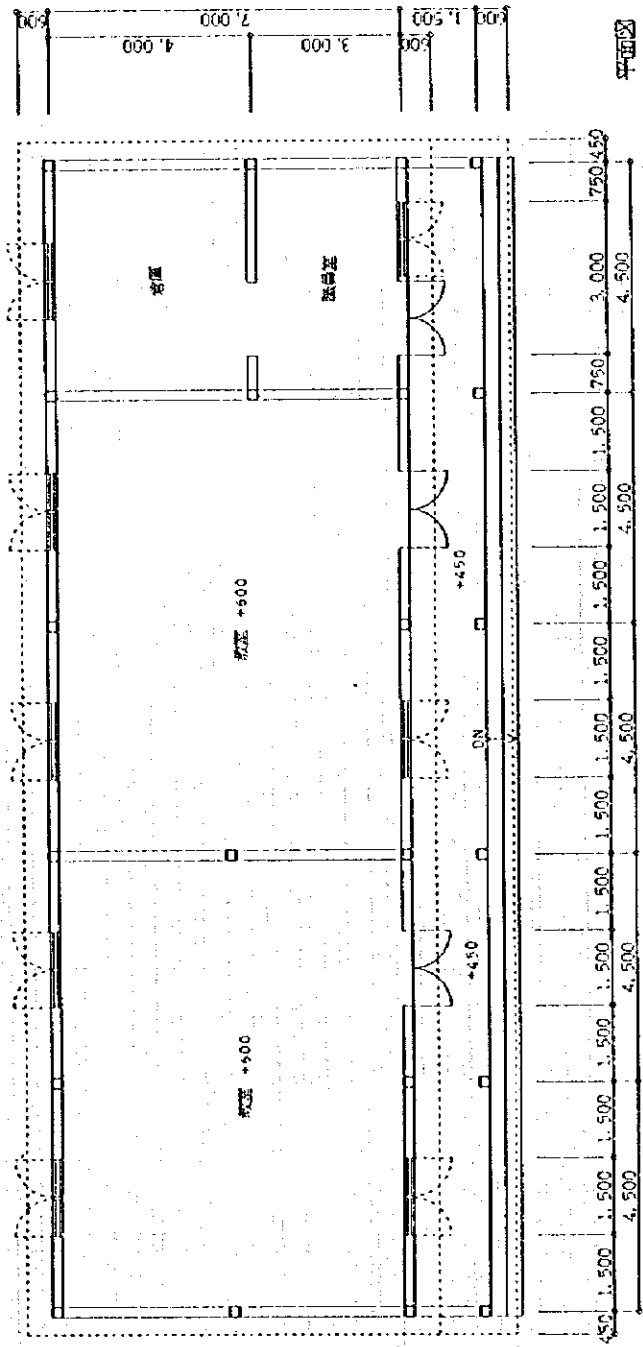
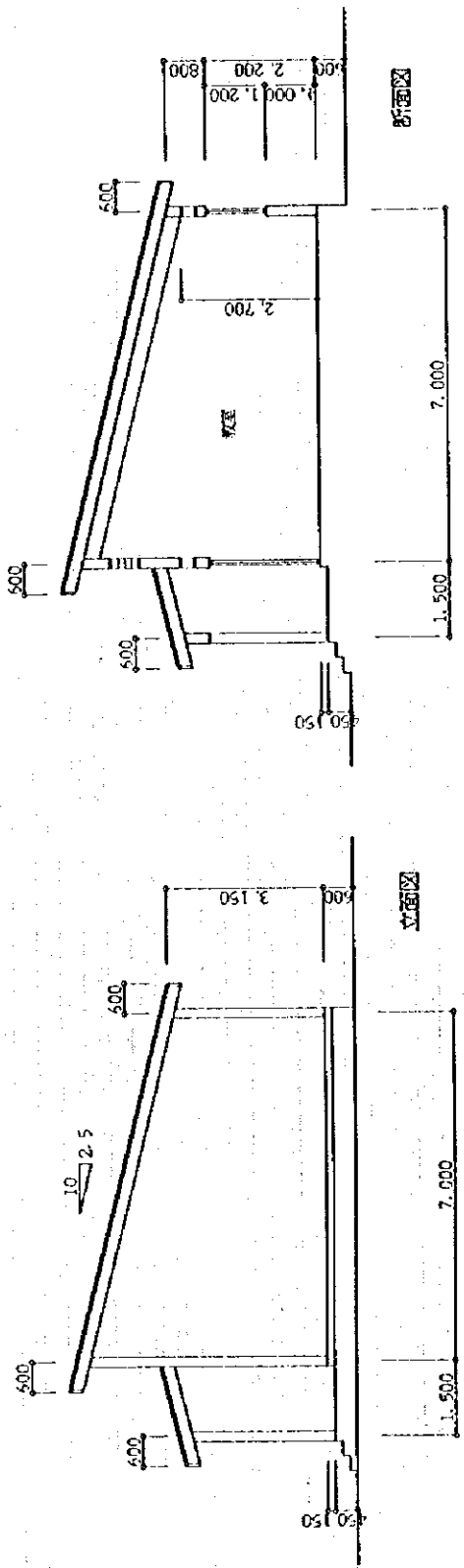


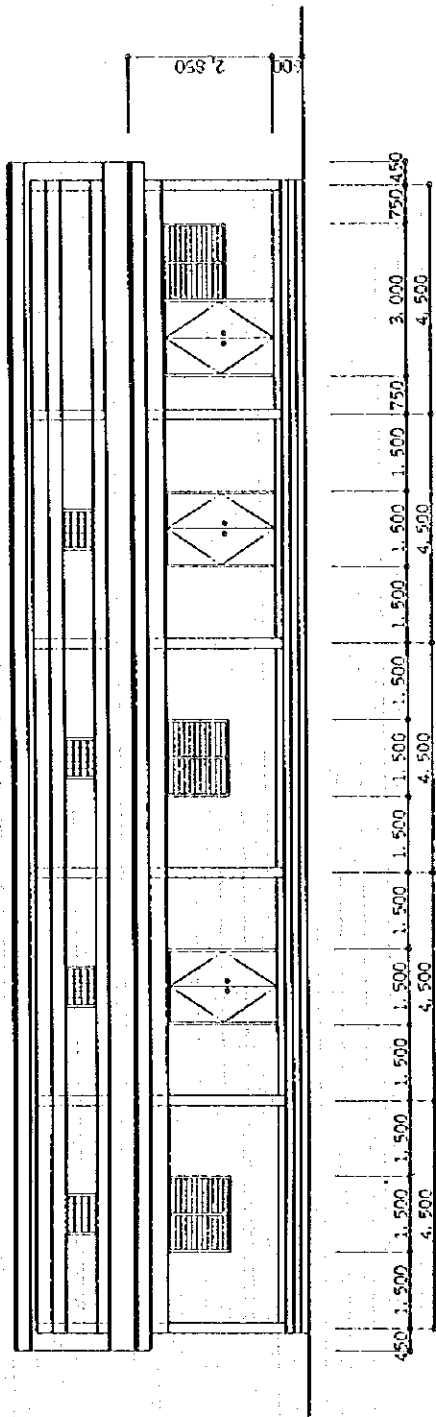


南側立面図

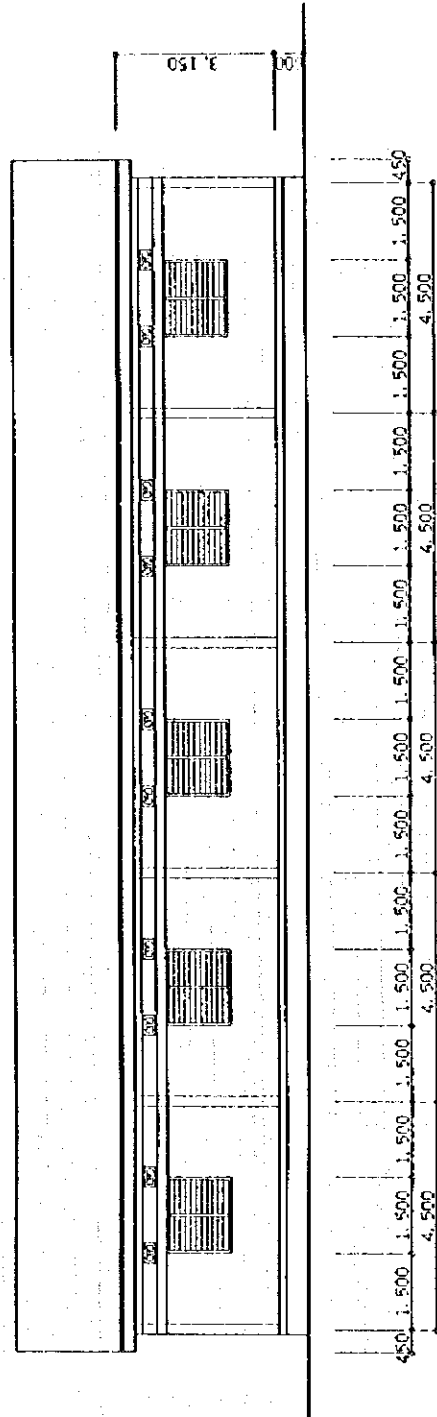


北側立面図

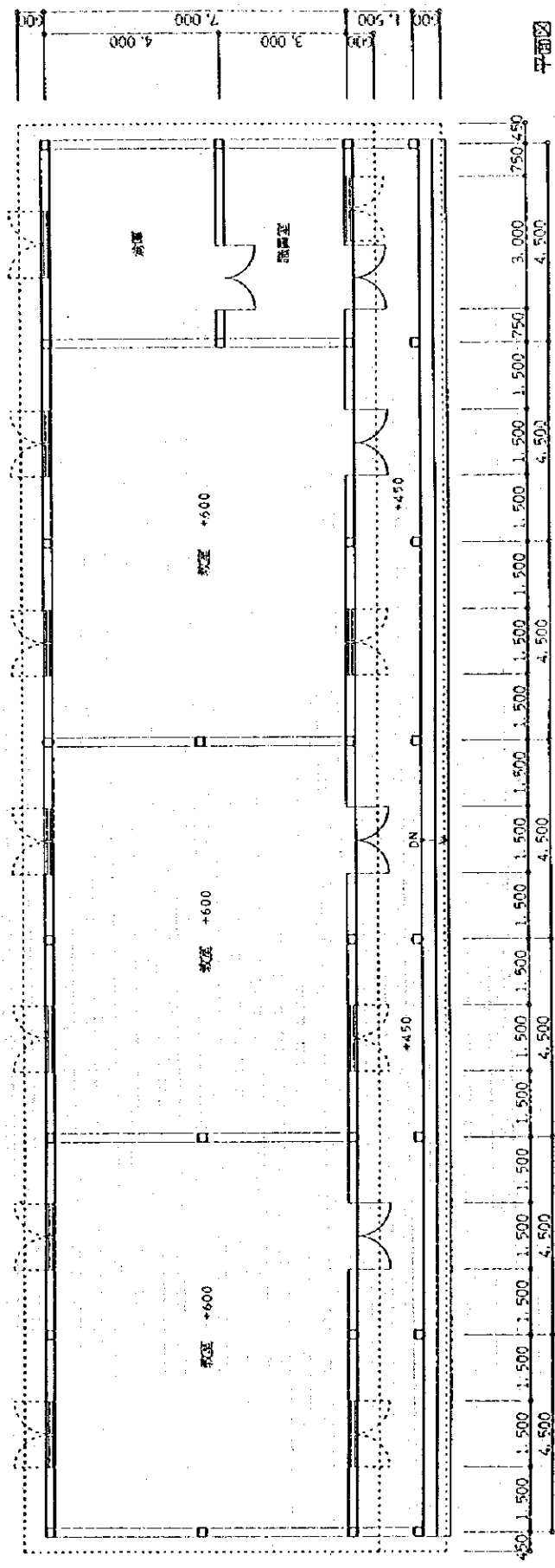
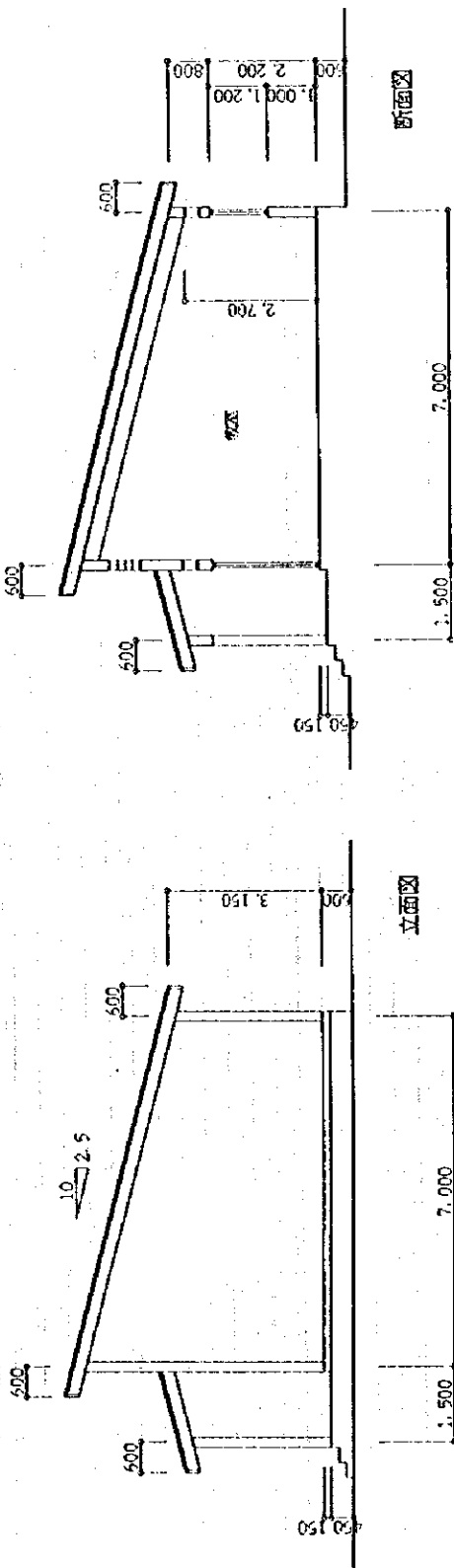


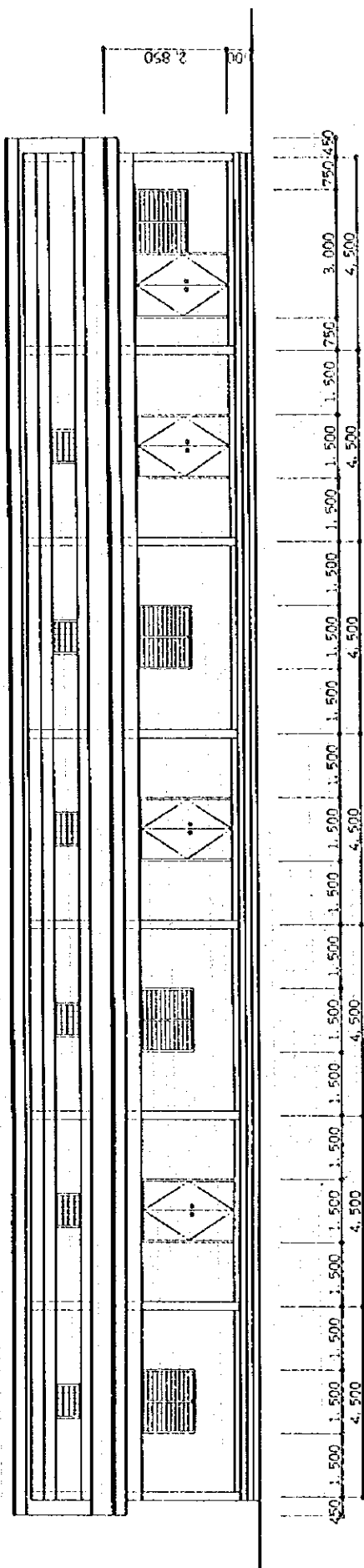


南側立面図

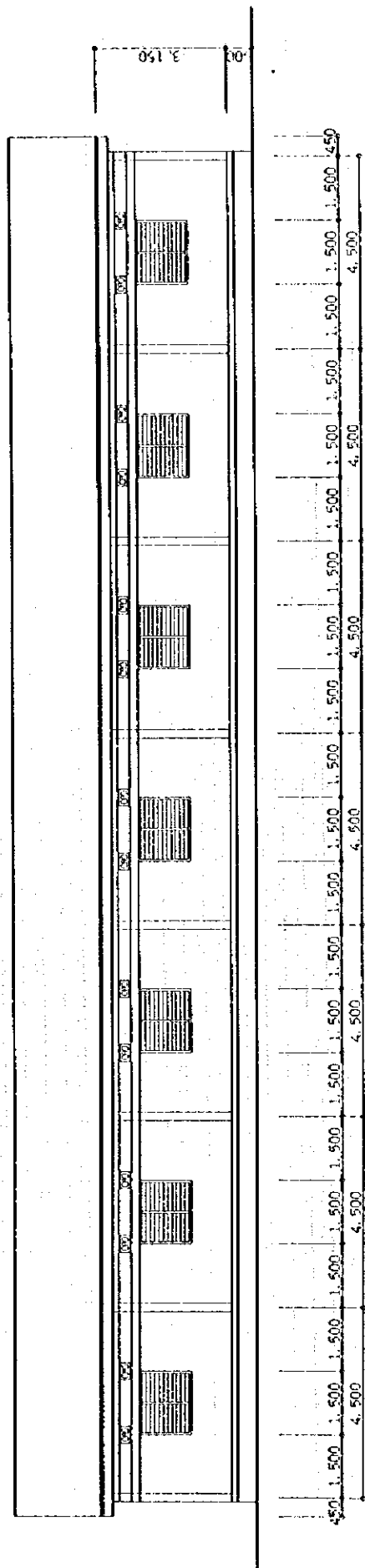


北側立面図

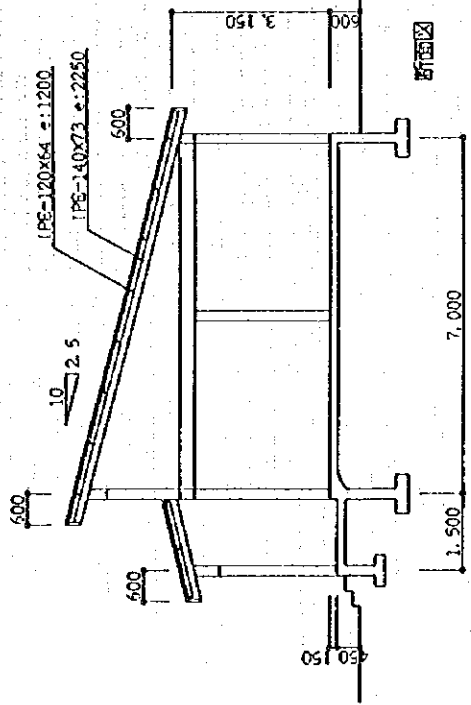




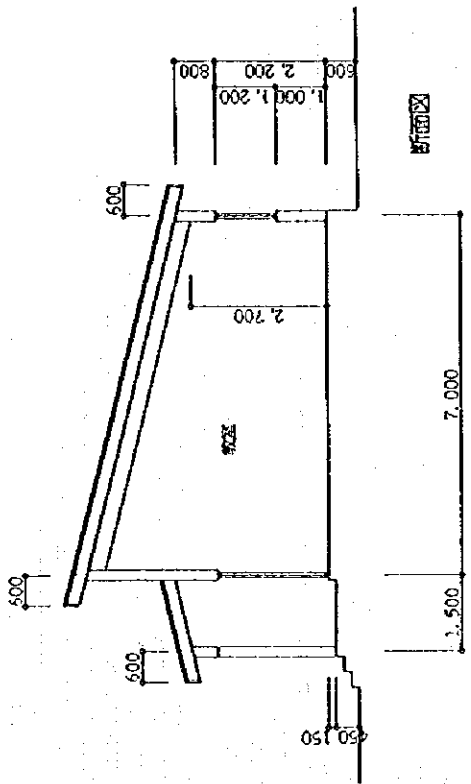
南側立面図



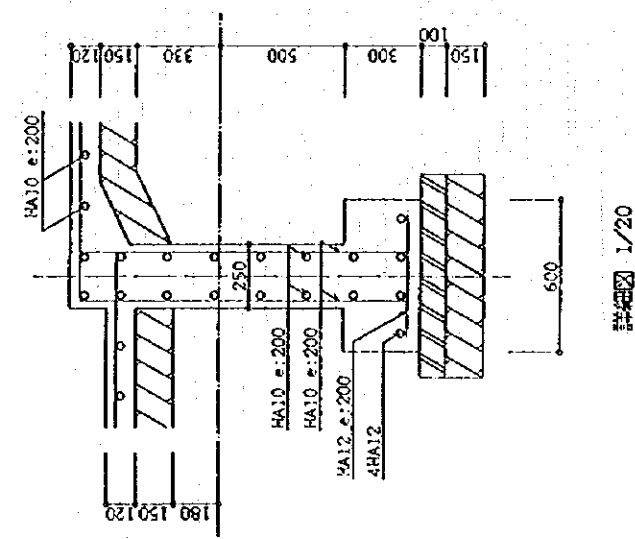
北側立面図



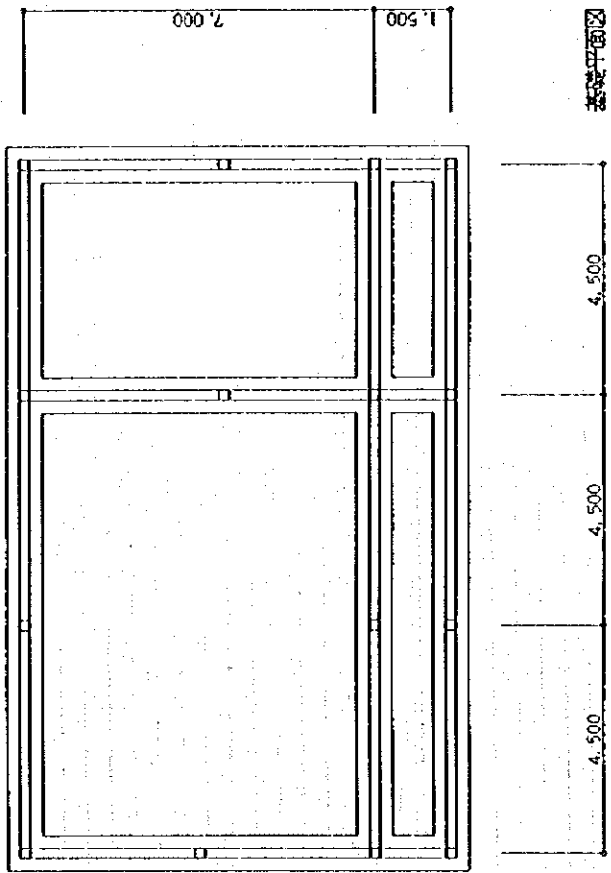
断面図



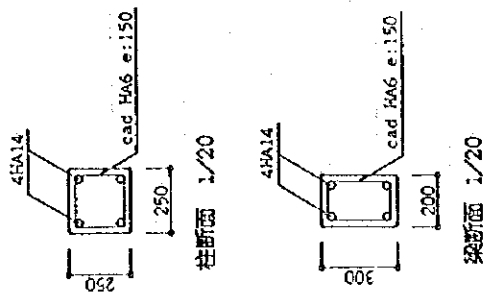
断面図



詳細図 1/20

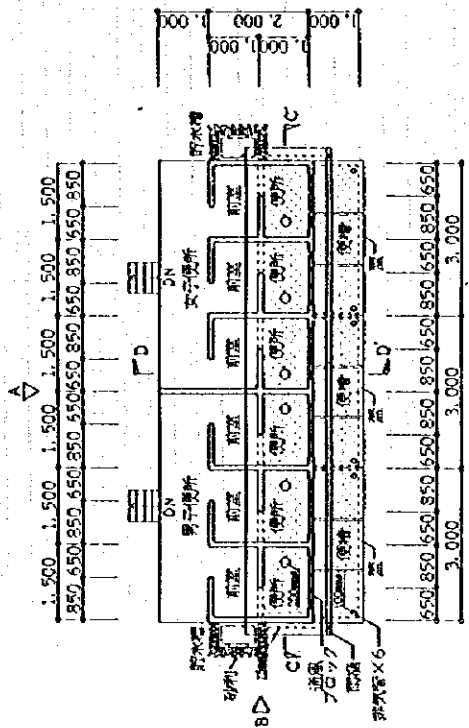


基礎平面図

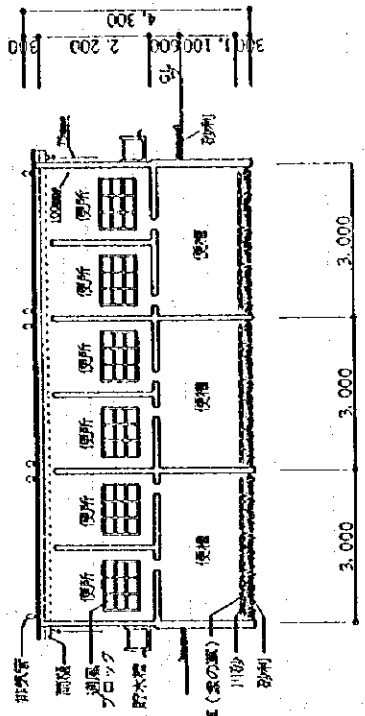


柱断面 1/20

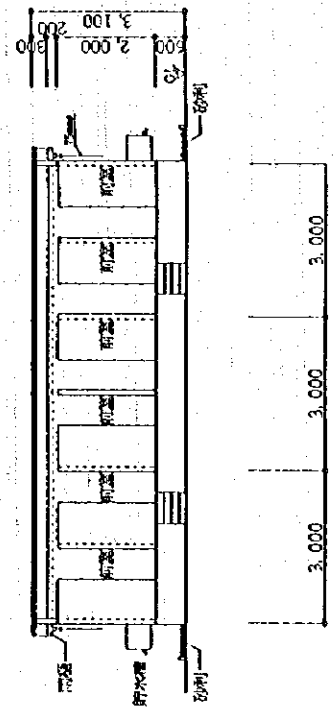
梁断面 1/20



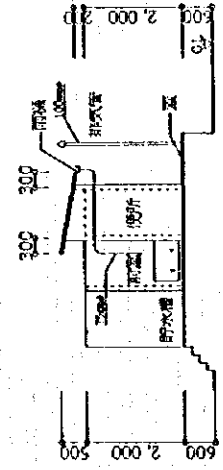
平面図



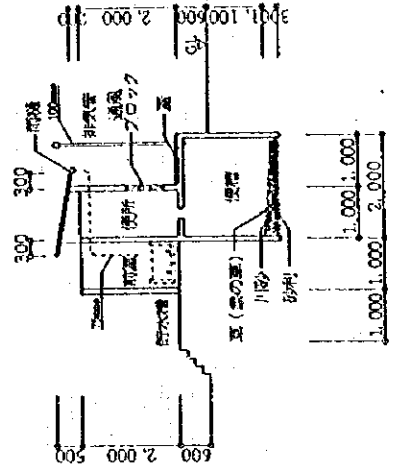
C-C' 断面図



立面図 A



立面図 B



D-D' 断面図

### 3-4 プロジェクトの実施体制

#### 3-4-1 実施機関および運営機関の組織

##### (1) 本プロジェクトの実施機関

「ブ」国におけるすべての援助プロジェクトの受け入れ窓口はMEFP（経済・財務・企画省）のONMP（対外協力局）であるが、教育分野における本件の場合、MEBAM（基礎教育大衆識字化省）のDEP（調査計画局）が総合調整を行ない、さらにDPEBAM（MEBAMの地方局：各県都にあり、県の主任視学官がいる）で調整されることになる。

また、実施機関については、ローン関連はMEBAMのBPE（教育プロジェクト局）が主管し、無償資金協力関連の全国規模のプロジェクトについてはDEP、県単位のプロジェクトはDPEBAMが主管し、ドナーが間接的（配布等を伴なうもの等）に行なうプロジェクトはDAAF（管理財政局）が主管している。

したがって、本調査団のカウンターパートの主機関はDEPであり、本プロジェクトの調整・実施機関はこのDEPとなる。

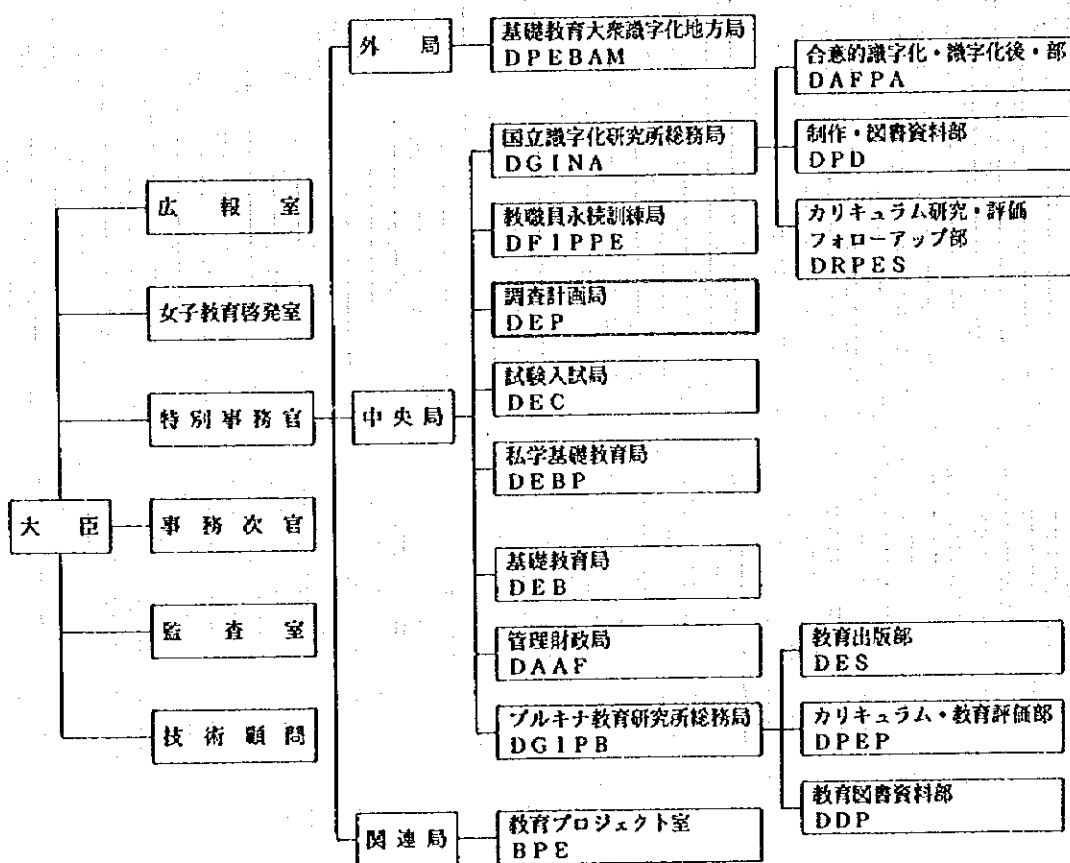


図3-5 基礎教育大衆識字化省（MEBAM）組織図



SERVICES EXTERIEURS	—	DPEBAN	: DIRECTION PROVINCIALE DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET DE L'ALPHABETISATION DE MASSE	
	}	DGINA	: DIRECTION GENERALE DE L'INSTITUT NATIONAL D'ALPHABETISATION	
		DAFPA	: DIRECTION DE L'ALPHABETISATION FONCTIONNELLE ET DE POST-ALPHABETISATION	
		DPD	: DIRECTION DE LA PRODUCTION ET DE LA DOCUMENTATION	
		DRPES	: DIRECTION DE LA RECHERCHE DE LA PROGRAMMATION DE L'EVALUATION ET DU SUIVI	
		DFIPPE	: DIRECTION DE LA FORMATION INITIALE ET PERMANENTE DES PERSONNELS D'EDUCATION	
		DEP	: DIRECTION DES ETUDES ET DE LA PLANIFICATION	
SERVICE CENTRAUX		—	DEC	: DIRECTION DES EXAMENS ET CONCOURS
		DEBP	: DIRECTION DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE PRIVE	
		DEB	: DIRECTION DE L'ENSEIGNEMENT DE BASE	
		DAAF	: DIRECTION DES AFFAIRES ADMINISTRATIVES ET FINANCIERES	
		DGIPB	: DIRECTION GENERALE DE L'INSTITUT PEDAGOGIQUE DU BURKINA	
		DES	: DIRECTION DE L'EDITION SCOLAIRE	
		DPPEP	: DIRECTION DES PROGRAMMES ET DE L'EVALUATION PEDAGOGIQUE	
	DPP	: DIRECTION DE LA DOCUMENTATION PEDAGOGIQUE		
SERVICE RATTACHE	—	BPE	: BUREAU DES PROJETS EDUCATION	

(2) 組 織

「ブ」国の一般行政区は30県 (Province) からなり、その下には300の郡 (Department) と102の市/町 (Commune)、さらに、7,500の村 (Village) があり、教育行政もその一般行政区に準じている。

実際の基礎教育 (小学校) 行政は、中央のMEBAMの下に、各県のDPEBAM (県の視学官がいる) があり、さらに3~7の郡をまとめた55の学区に分割されている。さらに各学区における視学官は学区内の平均30~60校の校長を管轄している。

なお、一般的な生徒募集、教員配備等の運営実務は県の視学官のいるDPEBAMが処理している。ただし、学校施設の維持管理等は市・町・村の責任となっており、備品 (機材)、教材等の補充・交換等は、校長の要請により各学区DPEBAMを通じ、MEBAMの管理財政局 (DAAF) が一括購入して (Ouagadougouに2ヶ所の集積所がある) 供給している。

3-4-2 運営予算

「ブ」国において教員および視学官、教育行政官 (MEBAMおよびDPEBAMの職員) はすべて国家公務員であり、その経費はすべてMEBAMの省予算の中から支出される。

なお、MEBAMの1995年度予算は15,825,030,000CFA（約31.6億円（ $Y0.2=1.0$  CFA））であり、その中での人件費は13,380,522,000CFA（全予算の約85%）であり、以前（1991年：95%）に比し改善されてきている。

また、新学校年度の全教員数は約11,500人（全国教室数と一致）であり、その全教員給与は10,025,287,000CFA（MEBAM全予算の約63%）であり、一人当たり平均約87万CFA/年となる。

教員養成計画はMEBAMのDFIPPE（教職員永続訓練局）が第2次5ヶ年計画の4,000教室の建設計画に合わせて以下のとおり増員計画を立てている。

- 1) OuagadougouのENEP（教員養成学校）で毎年350人受入れ
- 2) Bobo-DioulassoのENEPがOPEC資金で1994年完成、来年（1996年）より毎年350人受入れ
- 3) P4で1992年度より5年間に限り、MEBAMの要請で公務員省が全国で950人をリクルートする。

なお、今年の新学期（1995年10月）には全国11,500教室に対して、すべて有資格教員の配備を完了しており、多少有資格教員の余裕も出てきている。

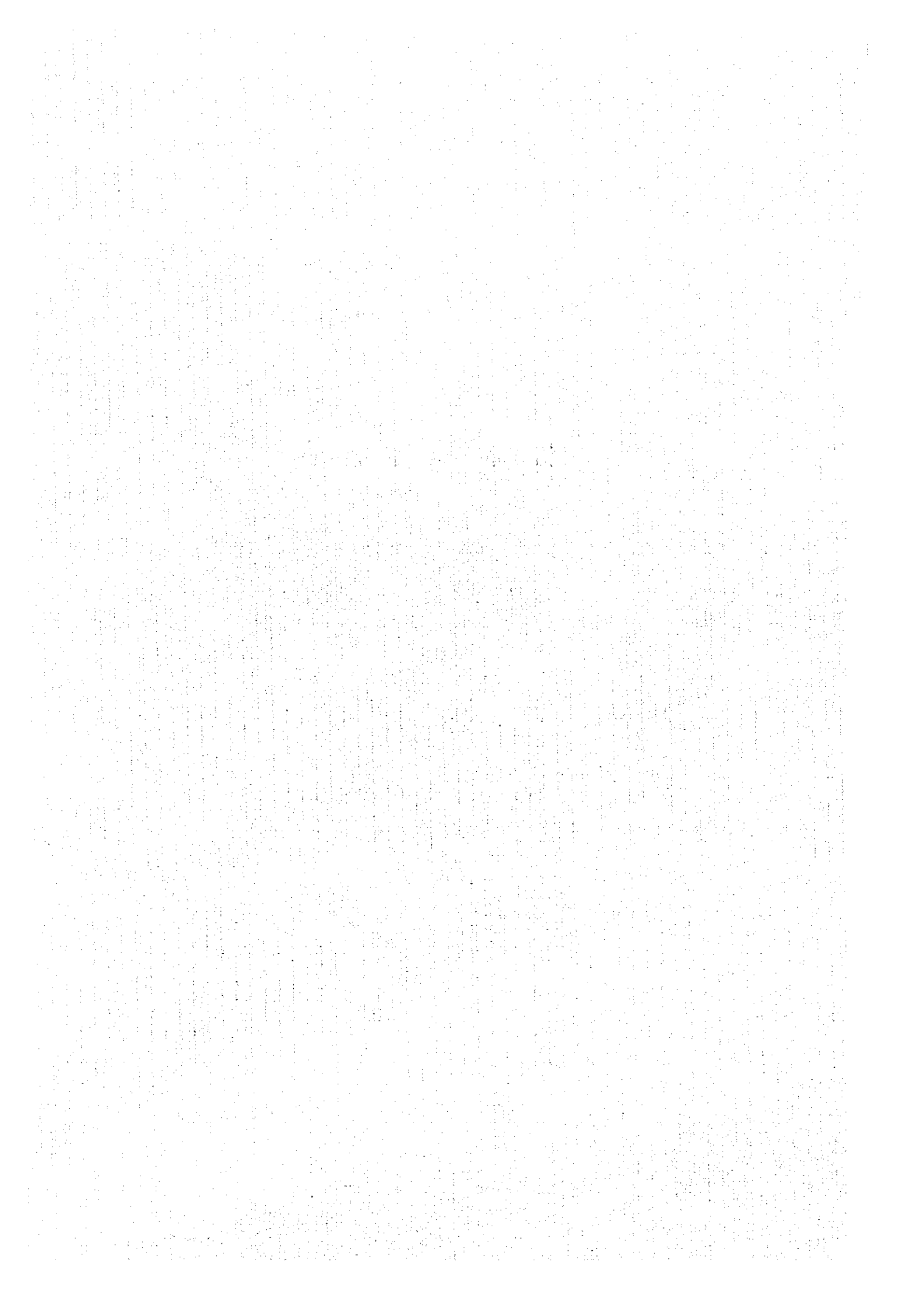
### 3-4-3 要 員

本プロジェクトにおける運営機関は、カウンターパートであるMEBAMのDEPであり、各県のDPEBAM（視学官）が補佐することとなっている。

DEPの職員構成は、局長以下3～4人の幹部職員および10数名の職員からなり、各県のDPEBAMは所長、視学官以下4～8人の構成となっている。また、技術職員は存在していない。

現地調査の結果、このDEPおよびDPEBAMの要員のプロジェクトの管理調整能力には問題ないと判断される。また、「ブ」国における小学校の維持管理には、地域の住民組織の担う役割が大きい。よって、本プロジェクトの実施では、各校の要員について、再確認するとともに、地域の住民組織の維持管理能力についても確認し、学校建設および運営に対する協力の必要性を提言することが望まれる。

## 第4章 事業計画



## 第4章 事業計画

### 4-1 施工計画

#### 4-1-1 施工方針

本計画は日本国政府の無償資金協力の枠組みに従って、実施される。本計画の「ブ」国側の管轄機関は基礎教育大衆識字化省（MEBAM）であり、具体的な実施を遂行する機関は調査計画局（DEP）である。施工にあたっては、特に下記を基本方針とする。

- (1) 調査計画局（DEP）およびBAZEGA、GANZOURGOU、SISSILI、MOUHOUN、OUBRICENGA各県の基礎教育大衆識字化地方局（DPEBAM）、コンサルタントおよび建設業者間で定例会議を行ない、意見交換を充分に行ない、良好な対話関係を維持し、円滑な工事の進捗を図る。
- (2) 建設サイトはBAZEGA、GANZOURGOU、SISSILI、MOUHOUN、OUBRICENGAの5県にまたがり、サイトはアクセスの悪い僻地に分散している。したがって、工程管理、資材調達・運搬管理を強化するために首都OUAGADOUGOUに施工本部事務所を、さらにA・B2グループの施工連絡事務所を設置し、各事務所には各々日本人施工技術者と現地人施工技術者を配置、下図の様な施工監理体制をとる。

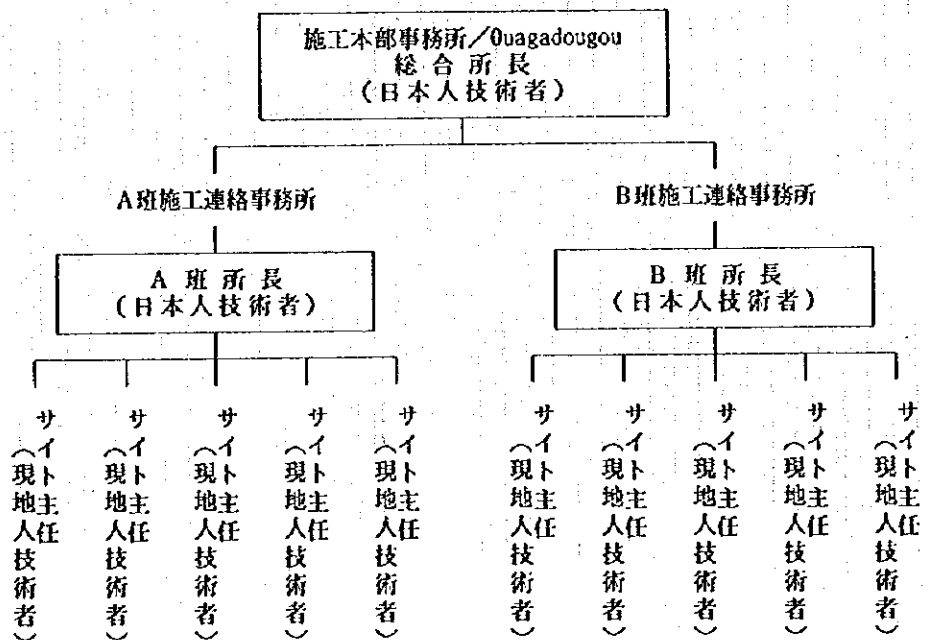


図4-1 施工監理体制

- (3) 今回の建設サイトは、大半がアクセスの悪い遠隔地にあるので雨季の降雨量の多い時期には工期を長目に取り、第1ステージを7ヶ月として施工する。すなわち、第1ステージは4月に準備をし、5月着工し、仮設工事0.5ヶ月、土工事、基礎工事それぞれ1ヶ月、建方1.5ヶ月、内装・仕上げ2ヶ月、の7ヶ月とし、第2ステージは8月後半より準備をし、10月より基礎1ヶ月、建方1.5ヶ月、内装・仕上げ1.5ヶ月、の5.5ヶ月とする。第3ステージも同様に5.5ヶ月で完工する。さらに、A、Bグループの施工精度格差をなくし、向上を計るため、総合所長を中心としたA、Bグループの打合せ会議を定期的に組み込んだ工程計画とする。
- (4) 各サイトにおいて工事を円滑に進めるため、定期的に校長、P. T. A. を交えた進捗会議等を行ない、工事関係者と地元住民の融和を図る。
- (5) 施工においては本計画の協力対象校の大半が遠隔農村地域にあることにより、地元住民の雇用を優先的に考慮すべきであるが、他ドナーにより実施された小学校建設では、「住民参加」による建設が遅々として進まない状況を鑑み、「住民参加」を取り止めた例もある。

地元住民のプロジェクトへの参加は、就職機会を創出するのみでなく、施設完成後における地元住民による施設の維持管理能力を高め、プロジェクトを持続的に効果のあるものとならしめるものであり、ひいては被援助国側の自助努力を助長させ、将来独自にプロジェクトを遂行させる技術の移転を生み出すものである。したがって、本計画では他ドナーの前例で不明確となっていた労務者の役割・責任分担を明確にし、日本人技術者の常駐管理等、工程管理の可能な体制を作ることにより、地元住民のプロジェクトの参加を是非実現したいと考えている。

#### 4-1-2 建設事情および施工上留意事項

現在「ブ」国における建設業者は、規模に応じて下記のようにランク付けられている。

- C-1 : 5,000万CFA以下 (請負金額)
- C-2 : 1億CFA以下 ( " )
- C-3 : 1.5億CFA以下 ( " )
- C-4 : 1.5億CFA以上 ( " )

上位ランクの業者には、各々フランス人スーパーバイザーが技術指導しており、要求する請負金額は高い。C-3以下の業者は施工能力等に問題があり、品質の良い成果品の作成および工程管理が不可能であると思われるため、この上位ランクの業者に発注すべきと思われる。また、「ブ」国では中、大型建設工事も少なく、質の高い熟練工、労務者等の確保は困難と思われる。世銀等のプロジェクトにおいてはサイトの土を骨材として利用したコンクリートブロックを資材としている。砂、砂利、コンクリートブロック、レンガ等のローカル建設資材の調達においては、十分な調査確認を行ない、本工事の品質の低下が起こらぬような監理体制を含んだ施工計画が必要である。

建設機械については、トラック、コンクリートミキサー、仮設材等、ほとんどが現地で調達できる。

以上の「ブ」国の現状を踏まえて施工上特に下記の点について留意する。

- (1) 無償資金協力の基本原則に従い、日本の建設会社が入札し、建設を担当するが、一般労務者を現地の建設会社(サブコントラクター)が雇用し、指示する形となる。したがって、施工品質を上げるためには優秀なスーパーバイザーの雇用、十分な労務管理、現場の指導を行なう必要がある。また、これらを前提として、労務者の手配、人数の確保等に充分注意を払い、工程管理にあたるものとする。
- (2) 施工計画にあたっては、特に雨期中の養生と造成状況に係る基礎工事は十分に注意・検討する必要がある。特に、本件においては、雨期(特に7~9月)における資材の運搬および土工事、基礎工事にあたっては十分慎重を期すべきである。また、乾期(12~2月)にはコンクリートおよびモルタル等の工事にあたって水養生が重要課題となると考えられる。これらの点に十分配慮した施工計画を行なうこととする。土工事、基礎工事、躯体工事等は、できれば雨期を避け乾期に完了するようスケジュールを立てる必要がある。
- (3) 建設に関する基準および法規は整備されていなく、実施設計後の建築許認可等は設計、工事共に不要である。



- (4) 本計画のサイトはそれぞれ遠隔地で上水、電力がない所が大半である。したがって、工事用水を確保するため、各サイトに仮設水槽としてまず便槽をビニールで貯水タンクとして施工し、もよりの水源より運ぶ方法がある。また、動力に関しては、ポータブル発電機の利用を考慮する必要がある。
- (5) 当建設工事にあたっては、地域住民の本プロジェクトに対する理解を深め、施設の維持管理の重要性を確認すると同時に我々の技術をできるだけ多くの人に理解してもらうため、特殊な技能を必要としない作業において、できるだけ地域住民の建設への参加を促進する。

#### 4-1-3 施工区分

日本国政府の無償資金協力が実施された場合、全体事業のうち日本側が負担する範囲と「ブ」国政府が負担する範囲を表4-1に示す。

表4-1 負担範囲

No.	工事等の負担事項	日本側負担分	「ブ」国側負担分	備考
1	本建設工事にかかる許認可、申請手続き一切		○	
2	造成工事（サイトクリアランス、整地）		○	
3	既存校舎、住居等建物等の解体、撤去		○	
4	樹木等の伐採		○	
5	公道からサイトまでのアクセス道路の整備		○	
6	敷地内の造園、門扉、塼等の建設		○	
7	工事用水源の使用料および利用手続き		○	
8	工事用車両の通行料		○	
9	本計画業務による日本人の「ブ」国出入国の便宜および関税国内税等の課徴金の免除措置		○	
10	本計画の建設工事用資材の「ブ」国の国内税の免除措置		○	
11	第三国調達資材の免税および通関手続き		○	
12	建設工事	○		
13	資機材調達、備品据付（机、椅子等）	○		

#### 4-1-4 施工監理計画

施工監理は、設計に基づいた施工精度の確保、工事中の技術および施工上の問題点の解決、日本側・「ブ」国側の工事の進捗監理を円滑に行なうため、定期的なサイト検査と定期的な報告会議を開催する。

施工監理上の留意点は以下のとおりである。

- (1) 計画建物の位置決定については、現地関係者と協議し確認をする。

「ブ」国側の負担工事、建設用仮設用地の確保、工事期間中のサイト管理上の同意、既存建物等の撤去、他日本側工事とのとり合いがあるため、工事の時期的タイミングが重要である。そのため、事前に工程および作業内容については、打合わせを十分に行なう。

- (2) 工事に先立ち、建設業者より実施計画書、工程表、施工等を十分に検討し、仮設計画、工程計画、資機材の質品および工法の妥当性を審査する。
- (3) 工事完了および引き渡しは、各工事ブロック毎になるが、できあがり次第その施設工事内容および納入機材が設計仕様を満たしているかの検査を行ない、問題がない場合引き渡す。
- (4) サイト数が多く地方に隔散しているため、工事の監理には日本人技術者を常駐管理者として効果的に施工監理に当たる。

#### 4-1-5 資機材調達計画

##### (1) 調達計画

工専用資機材調達の調達区分は下表に示すとおりであり、ほとんどの工専用資機材は現地調達が可能である。ただし、レベルおよびトランシットは、日本人技術者の利用を考慮し、一部日本調達とする。

表 4-2 各種材料別調達計画

資機材名	現地調達	日本調達	第三国調達	備考
砂、砂利	○			
セメント	○			輸入品
コンクリートブロック	○			
レンガ	○			
木材	○			
鉄筋(鉄骨)	○			輸入品
ガラスブロック	○			輸入品
木製建具	○			
金属建具	○			
屋根材	○			輸入品
雨樋	○			輸入品
天井材	○			輸入品
塗料	○			輸入品
雑金物	○			輸入品
配管材料	○			輸入品
備品(机、イス)	○			

表 4-3 建設機材調達計画

資機材名	現地調達	日本調達	第三国調達	備考
コンクリートミキサー	○			
振動ローラー	○			
発電機	○			
トラック(ブーム用)	○			
コンクリートパイプレーター	○			
溶接機	○			
レベル	○	○		日本人技術者用は日本調達とする。
トランシット	○	○		
タンクローリ	○			
鉄筋加工機械	○			

## (2) 機材調達計画

本計画書に使用される機材の調達にあたり、留意する事項は下記のとおりである。

### 1) 現地調達

品質および保守管理の観点から、使用に十分耐え得る機材でなくてはならない。メーカー代理店が「ブ」国に存在する機材については基本的に現地調達とする。

### 2) 第三国調達

「ブ」国において入手が困難で、隣国のコートジボアールから容易に調達可能であり、かつ十分使用に耐え得る品質を有するものは第三国調達とする。

### 3) 日本調達

機能、品質等において、望む機材が現地調達または第三国調達が困難であるものについては、日本調達とする。

## (3) 輸送計画

前記調達計画の中で記したように調達に関しての仕入先は、主に現地であり、輸入品に関しては現地の資機材業者にて輸入代金を含むものと考え、本件では特に国内での輸送を考慮する必要がある。

着工が雨期前であることから、まずワガトゥグに資機材集積場を確保し、必要な資機材を調達・準備する。各サイトへはこの集積場より、各々トラックにて輸送するものとするが、各サイトが散在していること、雨期中は道路状況により輸送困難となり得ること等を十分考慮し、輸送計画を策定する。

#### 4-1-6 実施工程

建設機材および資材調達を最も合理的に行なった場合の実施工程を表4-4に示す。

工程計画については、「ブ」国における雨期と乾期を考慮する必要がある。特に、基礎工事を雨期前に完了させる工程としなければならない。雨期に入ると3ヶ月近く遅延を余儀なくされる可能性がある。また、雨期中においては河川の増水、搬入道路の浸水等の影響を受けるので、建設機械、資材等の輸送に遅れが生じぬよう十分に検討を行なうことが重要である。

「ブ」国では世銀、BID等の他ドナーによる小学校建設計画も実施されているが、成果品の品質および工程には問題があり、本件ではまずモデル校2校を建設対象校から選び、日本の無償資金協力としての水準を保つために、現地業者に施工方法および工程精度を把握してもらう。モデル校施工時における問題点等をいち早く他現場へ反映させるとともに、現地技術者、労務者等に必要な技術・能力を修得させ、全工程をスケジュール通り終了させるよう努力する。

現地施工業者の施工能力から10サイトを1グループとして施工を行なうことを計画した。各グループは着工時期をずらし、同種の作業を次々にシフトしていくように計画し、各施設完工にあわせ備品（机、椅子等）の納入を行なう。

最後のグループが完工した時点で、すでに竣工したグループの維持管理状況も含めて工事検査を行なう。「ブ」国側へ施設・備品等の維持管理上の留意事項について提言を行なうとともに、各サイトにおける維持管理体制の確立を徹底させる。

全体工程を表4-4に示す。

表 4-4 全体工程表

年	1997												雨期				
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12					
月	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
E/N	◆ 1222																
詳細設計	<p>◆ 2D/3Dコンソールド契約                      詳細設計                      認 証                      PQ検査                      入札評価                      業者契約</p>																
施工計画	<p>準備作業、資機材運搬                      仮設工事                      基礎工事                      躯体工事                      屋根工事                      仕上工事                      外構工事                      最終検査</p>																
機材計画 (机、イス等の備品)	<p>現地モデル校製造調整                      品質管理 △                      第1ステージ 製造                      第2ステージ 製造                      第3ステージ 製造                      第1ステージ 製造                      第2ステージ 製造                      第3ステージ 製造                      第1ステージ 製造                      第2ステージ 製造                      第3ステージ 製造</p>																
実施計画	<p>許可申請手続き等                      外構工事                      完成工事、アクセス道路の整備                      運 管</p>																

\* E/N: Exchange of Notes

## 4-2 概算事業費

### 4-2-1 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力資金協力により実施する場合に必要な事業費の総額は、約6.28億円となり、日本と「ブ」国との負担区分に基づく双方の経費内訳は次のとおりである。

#### (1) 積算条件

- 概算事業費算出 1995年11月
- 外国為替レート 1フランス・フラン=100CFAフラン=19.0円
- 工事期間 計 12ヶ月
- 施工業種 日本国法人による施工会社への一括発注
- 建設工事に必要な仮設・建設機材の持ち込み、持ち出しに対する関税および日本側施工会社にかかる現地での各種免税措置。
- 政変、および異常気象による大幅な工期の遅れがないものとする。

#### (2) 日本側負担経費

事業費区分	工事費
(1) 建設費	5.19億円
① 直接工事費	3.30
② 共通仮設費	0.61
③ 輸送梱包費	0.19
④ 現場経費	0.76
⑤ 一般管理費	0.33
(2) 機材費	0.19億円
(3) 設計監理費	0.87億円
合計	6.25億円

#### (3) 「ブ」国負担経費

事業費区分	必要経費
(1) 敷地工事	0.02億円
(2) 外構工事	0.01億円
(3) その他の経費 (Utilityの接続)	
合計	0.03億円

なお、建設に伴う「ブ」国負担経費は現地サイト状況が良好であること、および計画施設の内容が電気・水道等のインフラを必要としないため、ほとんど発生しないものと判断できる。



#### 4-2-2 維持・管理計画

協力対象校は、大部分が遠隔農村部に位置するため、上下水電気等の都市基盤施設は全くなく、使用料金支出を必要とする設備はないのが実情である。維持管理費の支出は建物修繕費と教育資機材補充費のみである。なお、生徒1人当たりの年間学校納付金は1,000CFAフラン（約¥200）であるが、自給自足の生活による農村部では、現金収入が期待できないため、この負担は大きく、就学率向上への弊害となっている事が考えられる。

##### (1) 建物維持管理

前記「3-4-1」のとおり、施設の維持管理は地方自治体が実施主体となっているが、農村部の自治体も非常に貧しく、実際には父兄の納付金とMEBAMの年間予算からわずかに修繕費等が支出されるのみとなる（1995年度で約3.5%：5.5億CFAフラン≒約1.1億円）。

これらを3教室を1コンプレックス（学校単位）とすると1コンプレックスあたりの維持管理費は以下のとおりとなる。

① 生徒納付金	平均150人/コンプレックス × 1,000CFAフラン=150,000CFAフラン
② MEBAM年間予算	550,000,000CFAフラン ÷ 3,830コンプレックス=143,000CFAフラン
計	=293,000CFAフラン（約¥58,600）

となり、1校当たり年間で約30万CFAフラン（約6万円）の維持管理費の予算が確保できることになる。

##### (2) 教育資機材補充管理

教育資機材の補充は、MEBAMのDAAFが必要機材を一括購入した後、各県でDPEBAMを通して、各校に支給される。合計金額はMEBAMの予算の約4%（1995年度約6.3億CFAフラン≒1.3億円）が当てられる。これを1コンプレックスあたりの予算と計算すると、

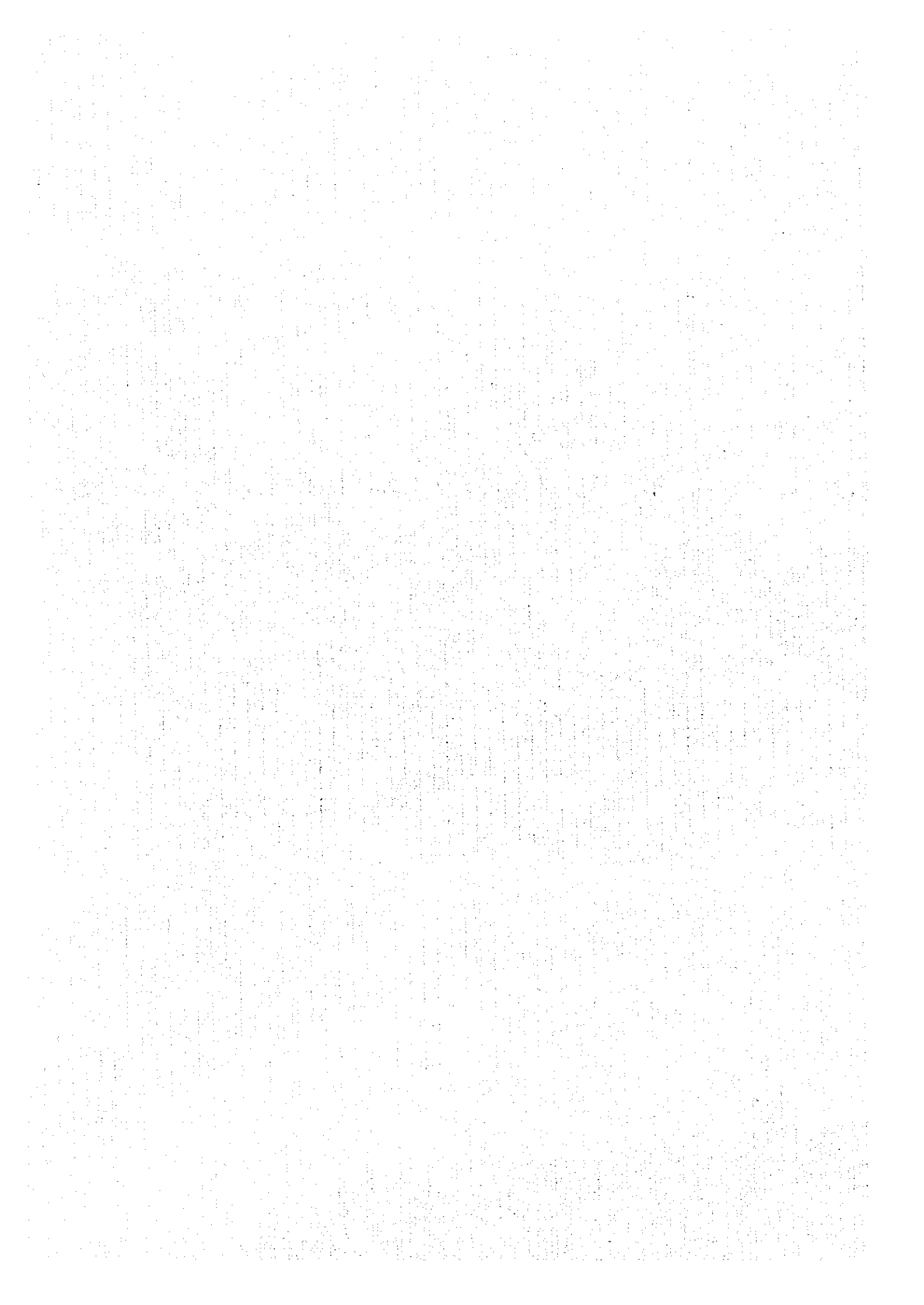
$630,000,000 \text{ CFAフラン} \div 3,830 \text{ コンプレックス} \approx 165,000 \text{ CFAフラン}$ （約¥33,000）となる。

### (3) 維持管理費予算

3教室を1コンプレックスとすると、1コンプレックスあたりの年間維持管理費予算（建物維持管理費および教育資機材補充管理費を含む）は約45万CFAフラン（約9万円）になる。建物についてはメンテナンスフリーで、かつ耐久性に富むものとなるよう計画し、教育資機材（机、椅子等）についても頑丈で堅牢な基本的なものの供与を行なうことを計画しているため、上記に算出した維持管理費の予算が継続的に計上されれば、本計画の持続的な効果を保つことが可能であると判断される。



## 第5章 プロジェクトの評価と提言



## 第5章 プロジェクトの評価と提言

### 5-1 妥当性に係る実証・検証および裨益効果

「ブ」国では、小学校の就学率は約32.9%（1994年度）と低く、現在実施中の「第2次国家開発5ヶ年計画」においても、1996年までに就学率を40%に引き上げることを目標に基礎教育の普及に取り組んでいる。世銀をはじめとする国際機関やNGOなどが同国の基礎教育の普及に関するプロジェクトを実施しているが、この目標を達成するにはまだ不十分な状況である。現在の小学校の状況をみると、その絶対数が不足していることに加え、既存の学校のうち約1割が「バンコ」造の教室であり、堅固な材料による建直しが必要な状況にある。

本件は、このような状況にある「ブ」国において、劣化して危険な状況にある「バンコ」造の教室を建直し、基礎教育に必要な備品の整備を行なうものであり、本件の実施によって以下の効果があると考えられる。

- (1) 教育環境の改善：本件の実施によって、31校79教室が建設されることにより、バンコ造りの教室が64教室建替えられ、また、教室数は15教室増加することになる。これにより、64教室の劣悪な環境が改善され、15教室分（1教室45人として675人）の生徒の修学が可能となることになり、これまで過密状態にあった教室の環境は改善され、また就学の可能性も広がることになる。この31校に在籍中の約5,000名の生徒の他、コミュニティの集会等の授業時間以外の活動や自然災害時の避難場所としての利用など、その地域の住民も直接的な恩恵を被ることになる。
- (2) 二部制授業導入の促進：本件における施設計画では、断熱性に富む屋根材の使用、天井の設置、開口部の拡大およびガラスブロックの使用等により、日中の暑い時間帯の授業環境を改善して二部制授業を促進し、雨期中や暴風の際にも授業が実施可能となるように工夫している。二部制授業の導入により、通常の2倍の生徒、つまり約10,000人を受け入れることが可能となり、また過密による教育環境の悪化を改善することになり、教育の質の向上につながる。
- (3) 農村地域における基礎教育の普及：「ブ」国における就学率は、都市部と農村部における格差が大きく、本件において農村地域における小学校を建設することにより、農村部における就学意欲の向上と就学率および識字率の向上をもたらし、農村部における生活の質の向上と農業生産性の向上にもつながる。
- (4) 衛生教育の普及：本件により、教育棟とともに生徒用便所を建設することにより、就学児童に対する衛生教育が行なわれることになり、このことは、感染症の予防など保健医療状況の改善にもつながると考えられる。

- (5) 女子の就学率の向上と保健医療事情の改善：農村部における女子の就学率は非常に低い。その原因の一つとして小学校に生徒用便所がないことがあり、本件における便所の建設は女子の就学率の向上にもつながると思われる。この女子の就学率を向上させることは、保健衛生に関する基礎知識の普及を促し、出生率の低下や乳幼児死亡率の低下等の保健医療事情の改善にもつながることが期待される。

以上のように、本件を実施することにより、「ブ」国の基礎教育分野に与える効果は大きく、我が国の無償資金協力案件として妥当であると考えられる。

## 5-2 課 題

以上のごとく、本計画は「ブ」国における基礎教育分野での最初の我が国無償資金協力プロジェクトとなるが、前述のように、基礎教育体制の整備は、「ブ」国における今後の健全な発展に資するのみでなく、広く住民の基礎的生活分野（BHN：Basic Human Needs）の向上に寄与するものであることから、本計画が実施されることの意義は大きいと判断される。

しかし、本計画の実施には次のような課題が残されており、その解決がなされない場合は、計画の円滑な運営が困難であると判断される。

- (1) 「ブ」国では第2次人民開発5ヶ年計画に基づき、同国で2校目の教員養成学校が開校している他、さらに1校建設することが予定されており、教員の増員計画は順調に実施されている。本件実施にあたっては「ブ」国側に対し、この教員増員計画が確実に遂行されることが望まれるものである。
- (2) 当初は、教員住宅の建設も要請に含まれており、現地調査の際にも「ブ」国側より強い要請があったが、本件においては、検討の結果、計画の対象から外すこととなった。これは「ブ」国側または住民組織の協力により教員住居の建設を行なうことが可能であると考えられるためであり、この早急な実施が期待される。
- (3) 同国では、学校施設が不足している割に、二部制授業や複式授業を実施している学校が少なく、計画対象校31校においても、実施している学校は6校に過ぎない。教室をより有効活用して就学率の向上に結びつけるには、この二部制および複式授業を導入すべきであると考えられる。本件により昼間の教育環境改善のための工夫を行なうと同時に、現在同国で取り組み中の教員の増員により、この二部制授業の導入が可能となると期待される。

- (4) 現在同国ではスクールランチプロジェクトが実施されているが、1996年6月で終了する予定であるため、給食施設は本件の協力対象外とすることとなった。農村地域において、児童の就学意欲を高めるためにも、スクールランチや教科書の提供など、通いやすい環境の整備も必要であると考えられる。「ブ」国側では現在教科書の増刷などによりその普及が促進されており、その実施が本件実施と平行して重要となる。
- (5) 本件では、当初要請のあった対象5県の180校のうち、61校の調査を行ない、最終的には計画対象校は31校となった。これは、「ブ」国より要請されていたものの、実際現地調査を行なってみると世銀など他ドナーにより建設済み、または建設予定校になっている学校があったためであるが、本件の実施を順調に行なうためには、このような状況に対する「ブ」国側の管理調整力についてもその向上が期待される。

上記に述べた本計画における課題とともに、将来的には以下のような課題を依然として抱えている。

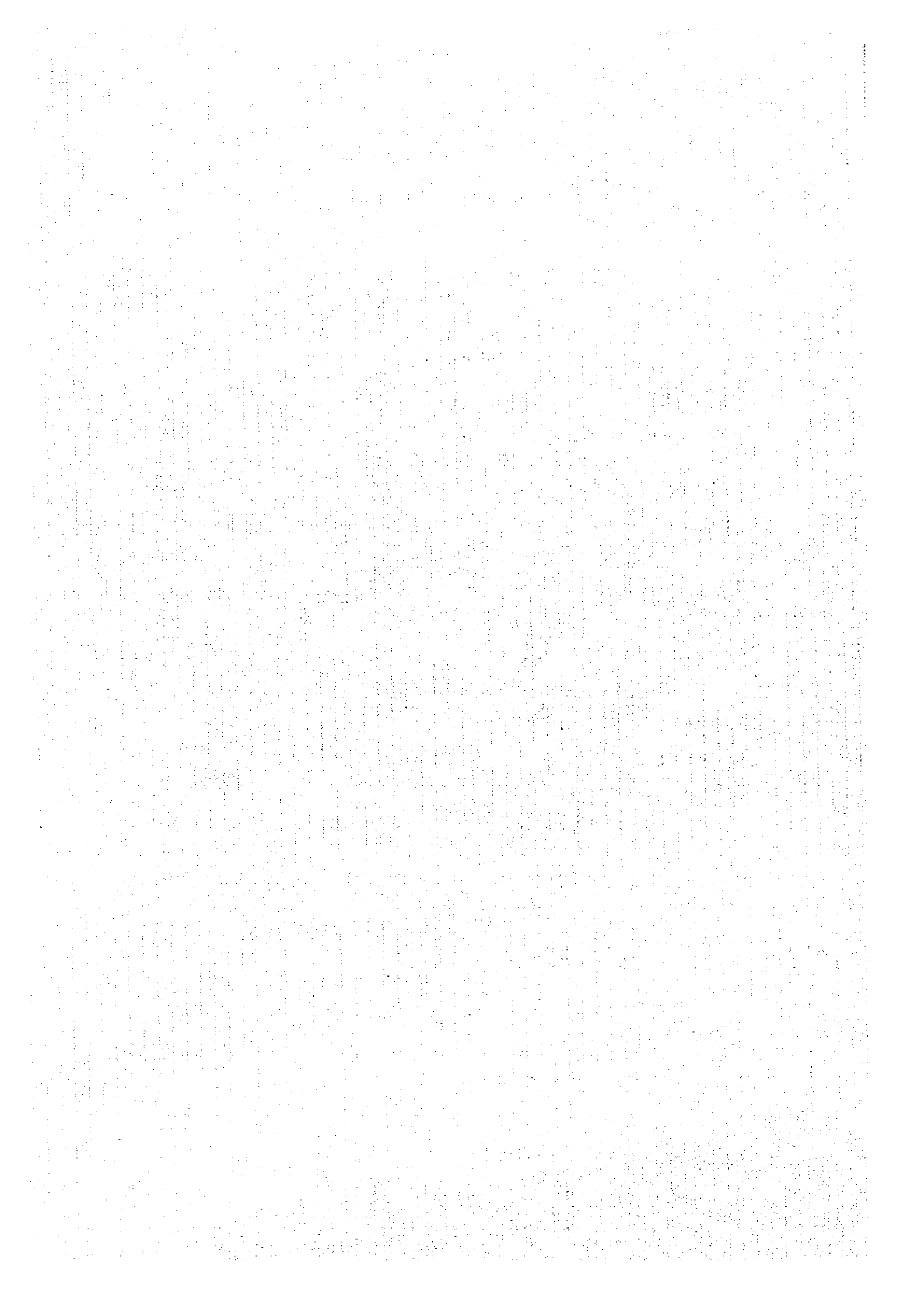
- (1) ワガドゥグ（首都）周辺への都市の拡大、南西部の農業開発、北東部の産金などにより人口増加が著しい地域で更なる教育施設の増加が必要であること。
- (2) バンコ教室が年々劣化して教室がなくなっていくこと。
- (3) 保健・医療の改善により全国的に児童が増加していること。
- (4) 経済の発展にあわせ、基礎教育分野の需要が増加していること。
- (5) 国土（農地）保全のため、地方分権化の強化が必要となり、農村・農業からの人口流出を抑制するため農村地域での人材育成が必要となっていること。

このようなことから、将来的には更なる基礎教育分野での協力を全国規模で敷衍する必要性が発生するものと考察する。





## 添 付 資 料



【1】基本設計調査時調査団団員リスト

- |                    |                            |                                |
|--------------------|----------------------------|--------------------------------|
| 1. 総括              | 米田 博<br>Hiroshi Yoneda     | 国際協力事業団<br>無償資金協力調査部基本設計調査第二課長 |
| 2. 計画管理            | 山形 茂生<br>Shigeo Yamagata   | 国際協力事業団<br>象牙海岸共和国事務所 次長       |
| 3. 業務主任<br>(建築計画)  | 井島 宏<br>Hiroshi Ijima      | (株) パシフィック コンサルタンツ インターナショナル   |
| 4. 施設計画<br>・サイト調査1 | 千品 富英<br>Tomihide Chishina | (株) パシフィック コンサルタンツ インターナショナル   |
| 5. 施設計画<br>・サイト調査2 | 坂口 隆之<br>Ryuji Sakaguchi   | (株) パシフィック コンサルタンツ インターナショナル   |
| 6. 施工/設備計画         | 新谷 英也<br>Hideyo Shintani   | (株) パシフィック コンサルタンツ インターナショナル   |
| 7. 通訳              | 佐々木 正之<br>Masayuki Sasaki  | シック・ジャパン株式会社                   |

【2】ドラフト説明調査時調査団団員リスト

- |                   |                           |                                       |
|-------------------|---------------------------|---------------------------------------|
| 1. 総括             | 佐々木 隆宏<br>Takahiro Sasaki | 国際協力事業団<br>無償資金協力調査部基本設計調査第二課<br>課長代理 |
| 2. 業務主任<br>(建築計画) | 井島 宏<br>Hiroshi Ijima     | (株) パシフィック コンサルタンツ インターナショナル          |
| 3. 通訳             | 佐々木 正之<br>Masayuki Sasaki | シック・ジャパン株式会社                          |

〔1〕基本設計調査日程表

日順	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
	8/30 (木)	米田団長	NRT (11:30) → CDG (16:50) Paris 泊	JL 405
	8/31 (木)	*	CDG (15:30) → ABJ (19:50) Abidjan 泊	
1	9/1 (金)	米田団長/山形次長	午前: JICA事務所 日本大使館 Abidjan 泊	山形次長と合流、打合せ 大使会見
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	NRT (14:30) → CDG (16:50) Paris 泊	JL 405
2	9/2 (土)	米田団長/山形次長	ABJ (10:00) → OUA (11:00) 午後: Hotel Silmande	VU 864 MAE アジア中近東課長、Mme ZABA の出迎え Counterpartと予定打合せ (DEP: M. KABORE, M. BINGOUWEOGO)
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	CDG (16:30) → OUA (21:30)	RK 161 米田団長/山形次長の出迎え
		全 員	Hotel (22:30) Oua. 泊	団内打合せ (団長報告、予定確認等)
3	9/3 (日)	全 員	午前: Hotel (8:30) Oua. 小学校見学 (9:00) Oua. 泊	団内打合せ Depoy A/2、Saambin Barge、Gounghin Sud-ABC
4	9/4 (月)	全 員	午前: MAE (外務省) (9:30) 午後: MEBAM (15:00) MEBAM (15:30-17:00) IGB (17:30) Oua. 泊	表敬訪問 (次官 M. KONGO、渉外局長 M. NEBIE、他) 表敬訪問 (大臣 M. BAWORO、他) 調査団のスケジュール等、協議、他 (Counterpart/M) I/200,000 地図他、入手
5	9/5 (火)	全 員	午前: MEBAM (9:00-12:00) 午後: BPE (世銀関連) (15:30) DAAF (USAID 関連) (17:00) 市 内 (17:30) Oua. 泊	I/R 説明/協議、他 (Counterpart/M) P4関連等質疑、他 Leo調査の準備
6	9/6 (水)	全 員	Sissili 行き 午前: MEBAM 奥 (7:30) Leo DPEBAM (11:30) 県 庁 (11:45) 午後: Leo DPEBAM (12:30) 小学校(FED)見学 (16:00) 対象校サイト見学 (17:00) Oua. 帰着 (21:30) Oua. 泊	視学官 (M. OUEDRAOGO) に挨拶 表敬訪問 (知事 M. BASSONO、市民課 M. SIDIBE、他) サイト特定協議 (要請40校 → 18校) Mouna (FED) Kayero (R-10)
7	9/7 (木)	全 員	午前: MEBAM (9:00-10:00) Hotel 内作業 (10:30-15:00) 午後: MEBAM (15:30-18:00) Oua. 泊	Leo行きの結果、ミニッツ作成方針等、協議 (Counterpart/M) ミニッツのドラフト作成 ミニッツの内容協議 (Counterpart/M)
8	9/8 (金)	全 員	午前: 視学官協議 (9:00-11:30) MEBAM (11:30-12:30) 午後: MEBAM (16:00-16:30) Oua. 泊	サイト特定協議 (Oubritenga 校欠席) Bazega (要請: 9校 → 計9校) Ganzourgo (要請: 4校 → 計5校) Mouhoun (要請: 12校 → 計11校) ミニッツの最終協議 (Counterpart/M) ミニッツのサイン (Counterpart/M)

日順	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
9	9/9 (土)	米田団長/山形次長	OUA (12:00) → ABJ (13:40) Abidjan 泊	NU 865
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	午前: Hotel Silmande (9:30) 宿舎移動 (10:30) 午後: Hotel (15:00-19:00) Oua. 泊	Hotel Silmande → Hotel Independance 資料整理
10	9/10 (日)	井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	午前: Hotel 午後: 事務所 (15:00-19:00) Oua. 泊	資料整理 サイト調査作業会議 (サイト調査予定表作成)
		米田団長/山形次長	午前: 日本大使館 JICA 午後: CINCAT (16:00-17:00) Oua. 泊	大使館報告 報告 (解散) AF 7203 Counterpart Meeting (サイト調査予定協議/作業スケジュール調整) サイト調査作業補助具につき協議
11	9/11 (月)	米田団長	ABJ (21:50) → CDG (Paris) 機中泊	AF 7203
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	午前: DEP (9:00-12:00) 午後: CINCAT (16:00-17:00) Oua. 泊	Counterpart Meeting (サイト調査予定協議/作業スケジュール調整) サイト調査作業補助具につき協議
12	9/12 (火)	米田団長	CDG (6:10)着 Paris 泊	AF 7203
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	Oubritenga 行き 午前: DEP (8:30) Ziniare DPEBAM (9:30) 県庁 DPEBAM (10:00-11:30) 午後: 小学校 (P4) 見学 (14:00) 調査対象校見学 (17:00) Hotel 帰着 (18:00) Oua. 泊	視学官表敬訪問 表敬訪問 (知事 M. ZONGO、他) 視学官 (M. OUEDRAOGO) とサイト特定協議 (要請: 23校 → 18校) Ziga (P4): (往復 5 時間) Lumbira (AD-5)
13	9/13 (水)	米田団長	LHR (19:45) → NRT 機中泊	JL 402
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	Mouhoun 行き 午前: Hotel 発 (7:30) Dedougou DPEBAM 着 (11:30) 県庁 (11:45) 午後: DPEBAM (12:00-12:30) 対象校サイト調査 (15:00) Hotel 帰着 (21:30) Oua. 泊	視学官 (M. NAPO) 表敬訪問 表敬訪問 (知事 M. SISIBE、他) 視学官と協議 (サイト調査スケジュール調整) Boron (R-40): 質問状 9/26 宛収を約す
14	9/14 (木)	米田団長	NRT (15:25) 着	JL 402
		井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	Ganzourgou 行き 午前: Hotel 発 (8:00) Zourgo DPEBAM (10:30) 県庁 (10:40) DPEBAM (11:00-12:00) 午後: 対象サイト調査 (13:00) Hotel 帰着 (15:30) Oua. 泊	視学官 (M. BAYE) 表敬訪問 表敬訪問 (副知事 M. DABIRE、他) 視学官と協議 (サイト調査スケジュール調整) Koinseogô (S-40)
15	9/15 (金)	井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	Bazega 行き 午前: Hotel 発 (8:00) Kombissili DPEBAM (10:00) 県庁 (10:15) DPEBAM (10:30-11:30)	視学官 (M. BAGRE) 表敬訪問 表敬訪問 (副知事 M. DABILGOU、他) 視学官とサイト調査スケジュール調整協議

日期	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
15	9/15 (金)		午後: 対象校サイト調査 (12:00) 果樹園(サイト付近) (13:00-14:00) CINCAT (17:00-18:00) Oua泊	Liboure (R-03) 見学 サイト調査作業補助員面接
16	9/16 (土)	井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	午前: 事務所 Oua泊	団内打合せ/資料整理
17	9/17 (日)	井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	午前: Hotel 午後: 事務所 Oua泊	資料整理 サイト調査のための団内打合せ/資料整理
18	9/18 (月)	井島主任/千品/坂口/ 新谷/佐々木	Sissili行き 午前: Hotel発 (7:30) 午後: Leo DPEBAM (12:15-12:45) 宿舎 (13:00-14:30) 宿舎発 (14:30) Hotel着 (18:30) Oua泊	視学官と協議(サイト調査スケジュール調整、案内人配備等) チェック・イン(宿舎はFEDの前線基地)
		A班(井島/佐々木)	宿舎発 (14:30) Hotel着 (18:30) Oua泊	
		B班(坂口/新谷)	宿舎発 (14:30) 対象校サイト調査 (15:30) Leo泊	Kayoro (R-10)
		C班(千品)	宿舎発 (14:30) 対象校サイト調査 (16:00) Leo泊	Vara (AD-3)
19	9/19 (火)	A班 (Oua.gadougou)	午前: DEP (8:30) DEP (11:30) 午後: DEP (17:00-18:30) Oua泊	局長 M.DABOUE と A班のスケジュール協議 (BPE局長との会見: 9/21, 16:00, 公共事業省: 9/22, 16:00 等)
		B班 (Sissili)	全日: 対象校サイト調査 Leo泊	Nanano (R-21/C-11)
		C班 (Sissili)	全日: 対象校サイト調査 Leo泊	Pehiri (R-09), Netiao (AD-01)
20	9/20 (水)	A班 (Oua)	午前: Kadosondo社 (10:00) Sol. Confort & Decor社 (15:00) 地質研究所 (16:00) Oua泊	(G/C) 訪問、質問状II記入依頼、他 (G/C) 訪問、質問状II記入依頼、他 地質図入手
		B班 (Sissili)	全日: 対象校サイト調査 Leo泊	Bouiga (R-12/C-20), Poun (R-14/C-22) Sapouy (R-15), Kasso (R-16/C-23)
		C班 (Sissili)	全日: 対象校サイト調査 Leo泊	Laro (R-20), Sadouin (R-29/C-24), Bouri (R-26)
21	9/21 (木)	A班 (Oua)	午前: Ecobaa社 (9:00) Diacfa社 (11:00) 午後: SNTB社 (15:00) Semimat社 (15:30) BPE (16:00) Technibois社 (17:00) Oua泊	(G/C) 訪問、質問状II記入依頼、他 (建材) 訪問、建材 Availability 調査、見積依頼 (運送会社) 訪問、情報収集、見積依頼 (家具) 訪問、情報収集、見積依頼 M. DIALLO 局長に他ドナープロジェクト等につき Hearing (G/C、家具) 訪問、質問状II記入依頼、他
		B/C班 (Sissili)	対象校サイト調査	Nevri (R-06), Sodon (R-25) 往車輛通行不能のため調査中止

日数	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
21	9/21 (木)	B班 (Sissili)	全日： 対象校サイト調査 Oua. 帰着 (21:30) Oua. 泊	Nebourou (R-13/C-23), (Coubiologo (AD-2))
		C班 (Sissili)	全日： 対象校サイト調査 Oua. 帰着 (18:45) Oua. 泊	Kariun (C-19), Karabole (R-27)
22	9/22 (金)	A班 (Oua.)	午前： Societe de Location de Matériels 社 (8:00) Inter Entreprise Generale 社 (10:00) Burkina Equipments 社 (11:00) 午後： Somimat 社 (15:00) Inter Entreprise Generale 社 (15:30) 公共入札公社 (GDCOOP) (16:00) Hage-Materiaux 社 (17:00) Oua. 泊	(建築レンタル) 訪問、建機レンタル表入手 (建材) 訪問、情報収集/見積依頼等 (建築販売) 訪問 依頼見積書入手 依頼見積書入手 M. OUNEROU 課長にブ国の建設業界事情等のヒアリング調査 (建材) 訪問、情報収集/見積依頼等
		B/C班 (Bazega)	午前： Hotel 発 (9:00) Kombissili DPEBAM (10:00)	視学官と協議 (案内人配属等)
		B班 (Bazega)	全日： 対象校サイト調査 Oua. 泊	Zangogo (AD-02), Nanyimi (AD-03), Doujouou (AD-01)
		C班 (Bazega)	全日： 対象校サイト調査 Oua. 泊	Combissili - Gana (AD-04), Napagabienga - Gougou (R-04)
23	9/23 (土)	A/B/C班	午前： 市内 午後： 事務所 Oua. 泊	資料整理
24	9/24 (日)	A/B/C班	午前： Hotel 午後： 事務所 Oua. 泊	資料整理 榻内ミーティング/資料整理
25	9/25 (月)	A班 (Oua.)	午前： Kadosendo 社 (8:00) 午後： DEP (16:30) Sol Confort & Decor 社 (17:30) Oua. 泊	(G/C) 質問状回収 M. DABOUE 局長と教員住宅問題を協議、 BPE 局長の訪問予定変更 (9/25、17:00 → 9/27、17:00) (G/C) 質問状回収
		B班 (Bazega)	全日： 対象校サイト調査 Oua. 泊	Nakombogo (R-06/C-23)
		C班 (Bazega)	全日： 対象校サイト調査 Oua. 泊	Gougou (R-07), Taama (R-08)
26	9/26 (火)	A/B/C班	Mouhoun 行き 午前： Hotel 発 (7:00) 午後： Dedougou DPEBAM 着 (12:30)	サイト調査日程打合せ、調査準備
		A班 (Mouhoun)	午後： 対象校サイト調査 Oua. 帰着 (23:30)	Boron (R-04: 質問状回収), Tierkou (AD-03)
		B班 (Mouhoun)	午後： 対象校サイト調査 Dedougou 泊	Iankuy - B (AD-03), Soukui (AD-01)
		C班 (Mouhoun)	午後： 対象校サイト調査 Dedougou 泊	Pie (R-01)



日順	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
27	9/27 (木)	A班 (Oua)	午前： 市内 午後： Ecobaa 社 (14:00) SNTB 社 (15:30) Hage-Materiaux 社 (16:00) BPE (17:00) DEP (17:30-18:30) Oua 泊	(G/C) 質問状回収 (運送) 見積入手 (建材) 見積入手 資料入手 M. DABOUE 局長と不足資料入手等につき協議
		B班 (Mouboun)	全日： 対象校サイト調査 Oua 帰着 (25:30) Oua 泊	Bolomakote (R-02)、Dora (R-03)、Fobiri (R-10) (28日の1:30)
		C班 (Mouboun)	全日： 対象校サイト調査 Oua 帰着 (20:00) Oua 泊	Secaco (R-07)、Seyou (R-09)、Bandio (R-11)
28	9/28 (木)	A班 (Oua)	午前： Hotel、市内 午後： 事務所 Oua 泊	資料整理
		B班 (Ganzourgou)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Bolle (AD-03)、Rapadama - T (AD-04)
		C班 (Ganzourgou)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Sapaga (AD-01)、Zourgo (AD-02)
29	9/29 (金)	A/B/C班	Oubritenga 行き 午前： Hotel 発 (9:00) Ziniare DPEBAM (10:00-10:30) Oua 泊	視学官不在。サイト調査予定打合せ
		A班 (Oubritenga)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Goue (AD-02)、Loubila (AD-06)、Nongana (R-05)
		B班 (Oubritenga)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Moentenga (AD-04)、Gaske (AD-06)、Gourpila (C-17)
		C班 (Oubritenga)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Goabga (R-04)、Zeguedeguen (R-05/C-15)、Tangsega (C-16)
30	9/30 (土)	A/B/C班	午前： 事務所、市内 午後： Hotel Oua 泊	団内打合せ/資料整理 資料整理
31	10/1 (日)	A/B/C班	午前： Hotel 午後： 事務所 (15:00-19:00) Oua 泊	資料整理 今後の予定協議、資料整理
32	10/2 (月)	A班 (Oubritenga)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Boutala (AD-03)、Bilgo (R-13)、Nedogo (R-14)
		B班 (Oubritenga)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Sourgoubila (R-01)、Ramsi (R-02/C-24)、 Sandogo (R-03/C-23)
		C班 (Oubritenga)	全日： 対象校サイト調査 Oua 泊	Seloguén (R-06)、Mouli (R-10)、Village - V3 (AD-01)
33	10/3 (火)	A班	午前： DEP (7:15-9:00) BPE (9:00-10:00) Oua 泊	今後の日程、不足資料入手等の協議 (M. DABOUE 局長) 他ドナープロジェクトにおける教員住宅の扱い等につき協議、 および資料提供依頼 (M. DIALLO 局長)
		B/C班	午前： 事務所 Oua 泊	資料整理
		A/B/C班	午後： 事務所 (15:00-20:00) Oua 泊	団内協議 (評価対象サイト選定、等)

日順	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
34	10/4 (水)	A班	午前： DFIPPE (8:00-9:30)	M. NABOLIE 局長に教員養成状況等を聞く
		A/B/C班	午前： CINCHAT (11:00-12:00) 午後： MEBAM (15:30-19:00) Oua 泊	支払い、他 評価対象サイトにつき協議、Oubritengaの2校の10/6再現地調査の要請を受ける。
35	10/5 (木)	A班	午前： 公共事業省建築局 (8:00-9:30)	M. SANKARA 局長にブワの建設に関わる法規・手続き等を聞く
		B班	午前： 事務所	資料整理
		C班 (Oubritenga)	午前： 対象校サイト調査 (9:00-11:00)	Tangsega (C-16) の再現地調査
		A/B/C班	午後： MEBAM (15:30) MAE (外務省) (16:00) Oua 泊	表敬訪問 (次官 M. COULIBALY) 表敬訪問 (次官 M. ZIDOUEMBA、他)
36	10/6 (金)	A/B/C班	午前： 対象校サイト調査 (9:00-12:30) 午後： 事務所 (15:00-18:00) Hotel Independance Oua 泊	Nomgana (R-15)、Boulala (AD-03) の再サイト調査 資料整理
37	10/7 (土)	千品/新谷/佐々木	全日： Bobo - Dioulaso 行き Oua 泊	建設事情調査、他
		井島/坂口	全日： 事務所 Oua 泊	資料整理
38	10/8 (日)	全員 (コンサル団員)	午前： Hotel 午後： 事務所 Oua 泊	資料整理 事務所整理
39	10/9 (月)	A班	運輸省気象局 (8:30-11:00)	気象データ収集
		B/C班	事務所 (8:30-12:00)	資料整理
		全員 (コンサル団員)	OUA (16:00) → ABJ (17:45) 市内レストラン (19:30-21:00) Abidjan 泊	RK 810 空港に JICA 山形次長、PCI 広江氏の出迎え 山形次長
40	10/10 (火)	全員 (コンサル団員)	午前： アビジャン (9:00-11:00) JICA 事務所 (11:30-12:00) Abidjan 泊	象国における建設事情調査、JICA 類似案件調査 辰見所長に調査終了報告
41	10/11 (水)	全員 (コンサル団員)	午前： 大使館 午後： Abidjan 旧都 ABJ (23:80) → CDG 機中泊	報告 見学 RK 130
42	10/12 (木)	全員 (コンサル団員)	CDG (14:30) 着 Paris 泊	RK 130
43	10/13 (金)	全員 (コンサル団員)	CDG (19:30) → NRT 機中泊	JL 406
44	10/14 (土)	全員 (コンサル団員)	NRT (14:55) 着	JL 406 NRTにて解散

[2] 基本設計概要説明日程表

日順	月/日 曜日	団員氏名	行程	調査業務の概要
1	11/21 (大)	佐々木団長、井島主任 佐々木通訳	NRT (12:15) → CDG (16:55) Paris 泊	JL 405
2	11/22 (水)	全 員	CDG (14:30) → OUA (18:45) Oua 泊	RK133
3	11/23 (木)	全 員	午前： DEP 午後： MEBAM Oua 泊	表敬訪問、日程調整依頼 (Dabue局長) 表敬訪問 (外務次官、MEBAM次官) Diacfa社訪問
4	11/24 (金)	全 員	午前： 市内 午後： DEP Oua 泊	NGO "DFLWENDE" 訪問、市内リセ視察 対象校、計画内容に関する全体協議
5	11/25 (土)	全 員	午前： DEP 小学校見学 Oua 泊	対象校、計画内容に関する全体協議 Barega、Tcésse校(P4)、Napagabenga-Gougueu (対象校) 視察
6	11/26 (日)	全 員	午前： 小学校見学 Oua 泊	Ganzourgo、RapadanaT (対象校) 視察
7	11/27 (月)	全 員	午後： MEBAM Oua 泊	ミニッツサイン、MEBAM大臣会見
8	11/28 (火)	全 員	午前： 午後： OUA (19:30) → ABJ (20:50) Abj 泊	経済・財務・企画省二国間協力局長会見 外務次官表敬訪問 サイト特定協議 (要請40校 → 18校) RK123
9	11/29 (水)	全 員 井島主任、佐々木通訳 佐々木団長	午前： 大使館、JICA事務所 午後： ABJ (21:50) → CDG Abj 泊 機中泊	協議結果報告 建材市場調査 AF7203
10	11/30 (木)	井島主任、佐々木通訳 佐々木団長	ABJ (21:50) → CDG CDG (5:15)着 機中泊 Paris 泊	建材市場調査 AF7203
11	12/1 (金)	井島主任、佐々木通訳 佐々木団長	CDG (5:15)着 CDG (19:25) → NRT 機中泊	JL406
12	12/2 (土)	井島主任、佐々木通訳 佐々木団長	CDG (19:25) → NRT NRT (15:15)着 機中泊	JL406
13	12/3 (日)		NRT (15:15)着	

## [1] 基本設計調査 (1995年8月30日～10月14日)

## Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation de Masse (基礎教育大衆識字化省)

M. SANOU Baworo Seydou Sanou	Ministre (大臣)
M. COULIBALY Adama	Secrétaire - Général (次官)
M. DABOUE Julien	Directeur, DEP (調査計画局長)
M. ZANGO S. Martin	Directeur, DAAF (管理財務局長)
M. DIALLO Issa Joseph	Directeur, BPE (教育プロジェクト室長)
M. NABOLLE Marin	Directeur, DFIPPE (教職員永続訓練局長)
M. KABORE Pascal	Chef de Service, DEP (調査計画局課長)
M. BINGOUWEOGO P. Etienne	Service Coopération, DEP (調査計画局係長)
M. KI B. Jacques	Agent, DEP (調査計画局職員)
M. OUEDRAOGO K. Joseph	Inspecteur, DEB (調査計画局視学官)
M. DRABO T. Daniel	Agent, DEB (調査計画局職員)
M. TOE Noël	Agent, DAAF (管理財務局職員)
M. COULIDIATI Kanfidini	Chef, Division Finance Comptabilité (財務会計部長)
M. BAMOUNI Hubert	Chef, Division Construction et Equipement (建設機材部長)
M. DONDASSE S. Moumouri	Chef, Service Marché (購買課長)
Mme. BAKYONO Blanche	Inspectrice, DPEBAM (地方局視学官)
M. TRAORE Kadiëtou	Chef, de Service Division 2 (第2部局課長)

## Ministère des Affaires Etrangères (外務省)

M. ZIDOUEMBA Bruno Nongoma	Secrétaire - Général (次官)
M. KONGO Rigozers	Secrétaire - Général par l'intérim (次官代理)
M. NEBIE B. Moussa	Directeur de la Coopération Bilatérale (二国間協力局長)
Mme. ZABA Jacqueline	Chef de Service Asie - Moyen Orient (アジア中東課長)

## Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan (経済・財務企画省)

M. YADGHO Augustin Philippe	Directeur Général, ONMP (公共市場庁次官)
M. OUNEROU Oldou Gadiago	Chef, DGCOOP (協力総局部長)

## Ministère des Travaux Publiques (公共事業省)

M. SANKARA Moussa	Directeur, DAH (建築局長)
M. ZONGO Jones	Directeur, RMS (総務局長)

Province de OUBRITENGA

M. ZONGO Jean Baptiste  
M. OUEDRAOGO Quintoin Adolphe  
M. CONGO Lassona Edmond  
M. ZONGO Joseph

Haut - Commissaire (県知事)  
Inspecteur / DPEBAM (地方局視学官)  
Inspecteur / DPEBAM (地方局視学官)  
Instituteur / SEP (学区視学官)

Province de SISSILI

M. BASSONO Jean  
M. SIDIBE Moussa  
M. OUEDRAOGO Saïdou

Haut - Commissaire (知事)  
Administrateur Civil (市民行政官)  
Inspecteur / DPEBAM (地方局視学官)

Province de MOUHOUN

M. SISIBE Idrissa  
M. TRAORE S. Prosper  
M. NACRO Batiana Esaïe  
M. SAWAAOGO Apollinaire  
M. TAMINI Alain Michèle  
M. KONATE Siano Dominique  
M. NAPO Célestin  
M. TRAORE O. Pierre  
Mme. SAKONDE Tamini Anne

Haut - Commissaire (知事)  
Secrétaire - Général de la Province (県助役)  
DAF du Haut - Commissaire (知事秘書官)  
Préfet du Département de Dédougou (Dédougou 群知事)  
Maire de Dédougou (Dédougou 市長)  
Directeur / DPEBAM (地方局所長)  
Inspecteur / DPEBAM (地方局視学官)  
Conseiller Pédagogique / DPEBAM (地方局教育顧問)  
Institutrice / SEP (学区視学官)

Province de GANZOURGOU

M. DABIRE Victor  
M. YAMEOGO Aimé Pascal  
M. BAYE Alain  
M. OUEDRAOGO Laurent  
Mme. KABORE - KERE Mélanie

Secrétaire - Général de la Province (県助役)  
Préfet - Maire de Méquet (Méquet 市長)  
Inspecteur / DPEBAM (地方局視学官)  
Instituteur / SEP (学区視学官)  
Institutrice / SEP (学区視学官)

Province de BAZEGA

M. DABILGOU P. Anuvole  
M. COMPAORE Gaousgou  
M. BAGRE Ambroise

Secrétaire - Général de la Province (県助役)  
Maire de Kombissiri (Kombissiri 市長)  
Inspecteur / DPEBAM (地方局視学官)

[ 2 ] ドラフト説明 (1995年11月21日～12月3日)

Ministère de l'Enseignement de Base et de l'Alphabétisation de Masse (基礎教育大衆識字化省)

M. SANOU Baworo Seydou	Ministre (大臣)
M. COULIBALY Adama	Secrétaire - Général (次官)
M. TRAORE Issa	Secrétaire - Général Par Intérim (次官代理)
M. DABOUE Julien	Directeur, DEP (調査計画局長)
M. DIALLO Issa Joseph	Directeur, BPE (教育プロジェクト室長)
M. BINGOUWEOGO P Etienne	Service Coopération, DEP (調査計画局係長)
M. KIB Jacques	Agent, DEP (調査計画局職員)
M. BAMOUNI Hubert	Chef, Division Construction et Equipement (建設機材部長)

Ministère des Affaires Etrangères (外務省)

M. ZIDUEMBA Bruno Nongoma	Secrétaire - Général (次官)
M. GIANSONRE Lazare	Directeur de la Coopération Bilatérale (二国間協力局長)
Mme. ZABA Jacqueline	Chef de Service Asie - Moyen Orient (アジア中東課長)

Ministère de l'Economie, des Finances et du Plan (経済・財務企画省)

M. ALEXIS K Yanogo	Directeur de la Coopération Bilatérale (二国間協力局長)
M. OUNEROU Oldou Gadiago	Chef, DGCOOP (協力総局部長)

NGO 他

M. RENE Nongama Sissao	Chef Association [Delwende] (会長 [Delwende])
M. SISSAO Etaude Enseignant	Université de Ouagadougou, Resoponsable du Volet Education (ワガドグ大学教務主任)
M. SYLVAIN Ouedrigo	
M. PIAKOUMA Leteo	
M. QUEDRAOGO Jean Albert	

1996.02 1/2

国名	ブルキナ・ファソ
	Burkina Faso

一般指標					
政体	共和制	*1	首都	ワガドゥーグー	*1
元首	President Blaise COMPAORE	*1	主要都市名	ボボ・ディオラフ、コトウケ、ワガドゥー	*1
独立年月日	1960年08月05日	*1	経済活動可人口	4,000千人 (1992年)	*5
人種(部族)構成	モ、クルンシ、モソ	*1	義務教育年数	6年間 (1994年)	*6
		*1	初等教育就学率	-%	*5
言語・公用語	仏語	*1	初等教育終了率	71.0% (1990年)	*5
宗教	伝統的宗教57%、回教31%、キリスト教12%	*1	識字率	20.0% (1992年)	*5
国連加盟	1960年09月	*2	人口密度	37.0148人/Km <sup>2</sup> (1994年)	*4
世銀・IMF加盟	1963年05月	*3	人口増加率	2.81% (1994年)	*4
			平均寿命	平均47.47 男46.66 女 48.3	*4
			5歳児未満死亡率	195 /1000 (1992年)	*5
面積	274.2千Km <sup>2</sup>	*4	初・供給量	2,220.0 cal/日/人 (1990年)	*5
人口	10,134,664千人 (1994年)	*4			

経済指標					
通貨単位	CFAフラン	*1	貿易量	(1992年)	*10
為替レート(US\$)	1US\$= 490.0 (12月)	*6	輸出	142.0百万ドル	*10
会計年度	1月～12月	*1	輸入	503.0百万ドル	*10
国家予算		*7	輸入が率	4.8% (1991年)	*11
歳入	-百万ドル	*7	主要輸出品目	綿花、金、動物製品	*1
歳出	-百万ドル	*7	主要輸入品目	機械、食品、石油	*1
国際収支	11.8百万ドル (1992年)	*7	日本への輸出	5.0百万ドル (1992年)	*12
ODA受取額	444.00百万ドル (1992年)	*8	日本からの輸入	25.0百万ドル (1992年)	*12
国内総生産(GDP)	2,815.00百万ドル (1993年)	*9			
一人当たりGNP	300.0ドル (1993年)	*9	外貨準備総額	279.4百万ドル (1995年)	*6
GDP産業別構成	農業 44.0% (1992年)	*10	対外債務残高	1,055.0百万ドル (1992年)	*11
	鉱工業 20.0% (1992年)		対外債務返済率	9.2% (1991年)	*11
	サービス業 37.0% (1992年)		インフレ率	-0.5% (1992年)	*8
産業別雇用	農業 87.0% (1992年)	*5			
	鉱工業 4.0% (1992年)				
	サービス業 9.0% (1992年)		国家開発計画	第2次経済5ヵ年計画 1991年～1996年	*13
経済成長率	0.5% (1992年)	*8			

気象(1973年～1983年平均) 場所: Ouagadougou (標高 302m)													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	33.0	37.0	40.0	39.0	38.0	36.0	33.0	31.0	32.0	35.0	36.0	35.0	35.4℃
最低気温	16.0	20.0	23.0	26.0	26.0	24.0	23.0	22.0	23.0	23.0	22.0	17.0	22.0℃
平均気温	24.7	27.7	30.9	32.6	31.6	29.3	27.2	26.3	27.0	28.8	27.7	25.1	28.2℃
降水量	0.0	3.0	13.0	15.0	84.0	122.0	203.0	277.0	145.0	33.0	0.0	0.0	895.0 mm
雨期/乾期	乾	乾	乾			雨	雨	雨	雨		乾	乾	

\*1 The World Factbook(C.I.A)(1993)

\*2 United Nations Information Center(FAX)(1994)

\*3 Development Assistance Annual Report(1995)

\*4 The World Fact Book(1995)

\*5 Human Development Report(1994)

\*6 International Financial Statistics(1995)

\*7 International Financial Statistics Yearbook(1994)

\*8 World Development Report(1994)

\*9 World Tables(1995)

\*10 World Tables(1994)

\*11 World Debt Tables 1993-1994,(1993)

\*12 世界の国一覽(外務省外務報道官編集)(1993)

\*13 最新世界各国要覧(1995)

\*16 World Weather Guide(1990)

国名	ブルキナ・ファソ
	Burkina Faso

1996.02 2/2

\*14

項目	年度	1989	1990	1991	1992
無償資金協力		2,043.46	2,382.47	2,515.30	2,699.97
技術協力		2,146.74	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力		5,161.42	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総 額		9,351.62	10,048.49	11,930.47	10,746.97

\*3

項目	歴 年	1993	1990	1991	1992
無償資金協力		1.05	0.15	0.63	0.79
技術協力		5.83	1.59	3.72	8.51
有償資金協力		0.00	0.00	0.00	0.00
総 額		6.88	1.74	4.35	9.30

\*14

	贈 与 (1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1) + (2) = (3)	その他政府資 金及び民間資 金 (4)	経済協力総額 (3) + (4)
		技術協力				
二国間援助 (主要供与国)	258.90	118.40	8.90	267.80	0.40	268.20
1. フランス	111.00	55.50	9.60	120.60	0.60	121.20
2. ドイツ	47.60	17.50	0.00	47.60	0.00	47.60
3. オランダ	33.20	27.20	-0.70	32.50	-0.20	32.30
4. カナダ	18.60	5.20	0.00	18.60	0.00	18.60
多国間援助 (主要援助機関)	87.30	23.80	80.50	167.80	-0.90	166.90
1. CEC	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2. IDA	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そ の 他	0.10	0.00	4.90	5.00	0.00	5.00
合 計	346.30	142.20	94.30	440.60	-0.50	440.10

\*15

技術	
無償	
協力隊	

\*14 Geographical Distribution of Financial Flows of Developing Countries(1994)

\*15 国別協力情報(JICA)



## 対象5県における要請校(180校)

県	対象校		児童数 (人)	教師数 (人)	既存施設	リハビリ及び	
	(No.)	(校名)			教室数(室)	新設要請教室数	
BAZEGA 38 ECOLES	BR01	Sincéné	60	1	1	3	
	BR02	Masgo	29	1	2	3	
	BR03	Lilbouri	-	-	-	3 (C)	
	BR04	Napagbtin-gounghin	133	3	3	6	
	BR05	Nangouma	118	2	3	0	
	BR06	Nacombogo	113	2	2	1 (C)	
	BR07	Goughin	224	3	3	3 (C)	
	BR08	Taama	93	3	3	3	
				770	15	17	22 cl.
		BC01	Yanga	106	3	3	0
		BC02	Doulougou Centre	463	6	6	0
		BC03	Nacombogo	113	2	2	1
		BC04	Zéguédéguin	149	2	2	1
		BC05	Dapoury	113	1	4	2
		BC06	Kossilci	77	2	3	0
		BC07	Koukoulou	85	2	3	0
		BC08	Séguédin	54	1	3	0
		BC09	Yéhou-Lado	-	-	-	2
		BC10	Lao	74	2	3	0
		BC11	Tintilou	206	3	3	3
		BC12	Sinsinguéné	146	2	3	3
		BC13	Kalwiga	166	3	3	3
		BC14	Konioudou	189	3	3	3
		BC15	Konontinga	-	-	-	-
		BC16	Nagouma	-	-	-	-
		BC17	Toangha	189	3	3	3
		BC18	Yargo	187	3	3	3
		BC19	Secteur n°3 (B)	218	4	4	3
		BC20	Balonghin	112	2	3	0
		BC21	Koagma	107	2	3	0
		BC22	Koankin	124	2	3	3
		BC23	Targo	174	3	3	3
		BC24	Gôghin	146	3	3	3
	BC25	Sitmissin	18	3	3	0	
	BC26	Tanghin	111	4	3	0	
	BC27	Zékounga	136	3	3	3	
	BC28	Zanguindiessé	102	2	3	0	
	BC29	Secteur n°6 (Nédogo)	-	-	-	2	
	BC30	Timboé	94	2	3	0	
			3,659	68	81	41 cl.	
			4,429	83	98	63 cl.	
GANZOURGOU 9 ECOLES	GR01	Dawara	82	3	3	3	
	GR02	Pousghin	56	1	3	0	
	GR03	Tanghin	257	6	6	3	
	GR04	Koratingo	96	3	3	0	
			491	13	15	6 cl.	
	GC01	Ouayalghin	93	2	3	0	

県	対象校		児童数 (人)	教師数 (人)	既存施設	リハビリ及び
	(No.)	(校名)			教室数(室)	新設要請教室数
	GC02	Pousghin	56	1	3	0
	GC03	Boulwando	76	1	2	1
	GC04	Komséogo	83	2	2	1
	GC05	Boalghin				2
			308		10	4 cl.
			799	13	25	10 cl.
MOUHOUN	MR01	Pié	62	2	2	3
21 ECOLES	MR02	Bolomakoté	108	2	2	3
	MR03	Dora	79	2	3	3
	MR04	Boron	127	3	3	3
	MR05	Labien	59	1	3	3
	MR06	Sao	61	2	3	3
	MR07	Secaco	109	3	3	3
	MR08	Poura-village	164	3	2	6
	MR09	Segou	79	3	3	3
	MR10	Fobiri	160	3	3	6
	MR11	Bandio	11	2	3	3
			1,019	26	30	39 cl.
	MC01	Pompoi	325	6	6	0
	MC02	Koumana	158	2	3	3
	MC03	Koukatenga	69	2	3	0
	MC04	Doudou	153	3	3	0
	MC05	Moukuy	122	2	3	0
	MC06	Kongoba	114	2	2	1
	MC07	Labien (Banco)	59	1	3	3
	MC08	Oula	76	2	3	0
	MC09	Sao (Banco)	61	2	3	3
	MC10	Bondo (Dép. de Yaho)				2
			1,137	22	29	12 cl.
			2,156	48	59	51 cl.
OUBRITENGA	OR01	Sourgoubila	272	5	5	2
56 ECOLES	OR02	Damsi	68	2	2	3
	OR03	Sandogo	87	2	2	3
	OR04	Goabga	75	2	2	3
	OR05	Zinguédoghin	65	2	2	2
	OR06	Seloghin	125	3	3	6
	OR07	Nioko I	105	2	2	3
	OR08	Gampéla	230	4	3	3 (C)
	OR09	Nambéguian	129	2	3	6
	OR10	Moutti	126	3	3	6
	OR11	Kolonkom	49	2	2	3
	OR12	Gongodo	10	1	2	1
	OR13	Bilgo	75	2	3	3
	OR14	Nédogo	107	3	3	3
	OR15	Nongana	303	8	6	6
			1,826	43	43	53 cl.
	OC01	Mokin	67	2	2	1
	OC02	Nioniogo	141	2	3	3
	OC03	Goughin (Banco)	132	3	3	3

県	対象校		児童数 (人)	教師数 (人)	既存施設	リハビリ及び
	(No.)	(校名)			教室数(室)	新設要請教室数
	OC04	Kikilma	156	4	3	3
	OC05	Likinkelsé	80	4	3	0
	OC06	Dié	148	2	3	3
	OC07	Pagatenga	112	2	3	0
	OC08	Nayamsé	120	2	3	3
	OC09	Gantin	62	2	3	0
	OC10	Don B.				
	OC11	Tang - Zougou	126	3	3	3
	OC12	Nanoussi				0
	OC13	Goundry	111	2	3	0
	OC14	Tabtenga	245	6	6	1
	OC15	Zinguédéghin	65	2	2	1
	OC16	Tangséghin (Banco)	95	4	2	2
	OC17	Goupila (Banco)	35	1	1	0
	OC18	Bigtogo	155	3	6	3
	OC19	Kcabin				0
	OC20	Saalé	140	2	3	3
	OC21	Saaba B.	136	3	3	3
	OC22	Koala (S/Dur)	106	2	3	0
	OC23	Sandogo (Banco + Paille)	87	2	2	0
	OC24	Damsi (Banco)	68	2	2	0
	OC25	Guéla	151	3	3	3
	OC26	Diguila	79	4	3	0
	OC27	Manefyam	124	3	3	3
	OC28	Tanghin	61	1	3	0
	OC29	Gondogo	10	1	2	1
	OC30	Ipala	82	2	3	0
	OC31	Tamissi	80	2	3	0
	OC32	Lango - Yango	325	6	6	0
	OC33	Tanghin - Gombogo	97	3	3	0
	OC34	Betta	50	2	2	1
	OC35	Kouila	185	4	4	2
	OC36	Moutti (Banco)	126	3	3	3
	OC37	Kolombon Sarogo				1
	OC38	Lindi - Namassa	38	2	3	0
	OC39	Sadba	110	2	3	0
	OC40	Sabsin	155	2	3	3
	OC41	Tanlilli	107	3	3	0
			4,167	98	112	49 cl.
			5,993	141	155	102 cl.
SISSILI	SR01	Yallé	114	3	3	4
	SR02	Bon	124	3	3	6
56 ECOLES	SR03	Bouara	66	2	2	3
	SR04	Kéhindou	45	2	3	3
	SR05	Gao	130	3	3	6
	SR06	Nevri	81	2	3	3
	SR07	Ouayou	118	3	3	6
	SR08	Passin	110	2	2	3
	SR09	Payiri	96	3	3	3
	SR10	Kayéro	91	3	3	3

県	対象校		児童数 (人)	教師数 (人)	既存施設	リハビリ及び
	(No.)	(校名)			教室数(室)	新設要請教室数
	SR11	Sissily	132	3	3	6
	SR12	Baouiga	44	1	2	3
	SR13	Nebrou	52	2	2	6
	SR14	Poun	114	2	2	3
	SR15	Sapoury	426	6	6	3
	SR16	Tiabienkasso	35	2	1	3
	SR17	Nabon	60	2	2	3
	SR18	Bazilakoa	77	2	2	3
	SR19	Bouzorou	83	2	3	3
	SR20	Laro	109	2	3	3
	SR21	Nanano	72	2	2	3
	SR22	Ton	133	2	2	3
	SR23	Kasso	83	2	2	3
	SR24	Nébiélianayou	76	2	3	3
	SR25	Sadon Nouna	55	2	3	3
	SR26	Bouri	55	1	2	3
	SR27	Karabolé	74	3	3	3
	SR28	Sadouan	46	1	2	3
	SR29	Sadouin	79	2	2	3
			2,780	67	75	103 cl.
	SC01	Yallé	114	3	3	0
	SC02	Néboum	90	2	3	0
	SC03	Nétéo	75	1	3	0
	SC04	Bouara	66	2	2	1
	SC05	Bon	124	3	3	3
	SC06	Passin	110	2	2	1
	SC07	Payiri (Banco + Paille)	96	2	3	0
	SC08	Lan	89	1	3	0
	SC09	Fara II	130	2	3	3
	SC10	Bouzourou	83	2	3	0
	SC11	Nanano	72	2	2	1
	SC12	Ton	133	2	2	4
	SC13	Onliassan	93	2	3	0
	SC14	Kayero (Banco + Paille)	91	2	3	0
	SC15	Nadion	89	2	3	0
	SC16	Kasso	83	2	2	1
	SC17	Sadon Nouna	55	2	3	0
	SC18	Kabaro	70	2	3	0
	SC19	Kation (Banco)	81	2	2	1
	SC20	Baouiga	44	1	2	1
	SC21	Nébrou	52	2	2	1
	SC22	Poun	114	2	2	1
	SC23	Tiabien - Kasso (Banco)	35	2	1	2
	SC24	Sadouin	79	2	2	1
	SC25	Ladio	84	1	3	0
	SC26	Tiéssourou (1 Banco)	104	1	3	0
	SC27	Lagalo	130	3	3	3
			2,386	52	69	24 cl.
			5,166	119	144	127 cl.
<b>TOTAL</b>			18,543	404	481	353 cl.

< 調査予定対象校検討結果 (88校) >

RE.NO.	学校名	a	b	c	RE.NO.	学校名	a	b	c	RE.NO.	学校名	a	b	c
<b>BAZEGA</b>					MC01	Pompoi	×			OC39	Sadba	×		
BR01	Sincéné		○		MC02	Koumana				OC40	Sabsin			
BR02	Masgo		○		MC03	Koukatenga	×			OC41	Tanlili	×		
BR03	Lilbouri		○		MC04	Doudou	×			<b>SISSILI</b>				
BR04	Napaghin-Goughin		○		MC05	Moukuy	×			SR01	Yallé			○
BR05	Nangouma	×			MC06	Kongoba			○	SR02	Bon			○
BR06	Nacombogo		○		MC07	Labien				SR03	Bouara			○
BR07	Goughin		○		MC08	Oula	×			SR04	Kéindou			○
BR08	Taama		○		MC09	Sao				SR05	Gao			○
BC01	Yanga	×			MC10	Bondo (Dép. de Yaho)				SR06	Nevri			○
BC02	Doulougou Centre	×			<b>OUBRITENGA</b>					SR07	Ouayou			○
BC03	Nacombogo			○	OR01	Sourgoubila			○	SR08	Passin			○
BC04	Zéguédéguin			○	OR02	Damsi			○	SR09	Payiri			○
BC05	Dapoury				OR03	Sandogo			○	SR10	Kayéro			○
BC06	Kossiki	×			OR04	Goabga			○	SR11	Sissily			○
BC07	Koukoulou	×			OR05	Zinguédoghin			○	SR12	Baouiga			○
BC08	Séguédin	×			OR06	Seloghin			○	SR13	Nébrou			○
BC09	Yéhou-Lado				OR07	Nioko I			○	SR14	Poun			○
BC10	Lao	×			OR08	Gampéla			○	SR15	Sapoury			○
BC11	Tintilou				OR09	Nambégoufan			○	SR16	Tiabienkasso			○
BC12	Sinsinguéné				OR10	Moutti			○	SR17	Nabon			○
BC13	Kalwiga				OR11	Kolonkom			○	SR18	Bazilakoa			○
BC14	Konioudou				OR12	Geogodo			○	SR19	Bouzourou			○
BC15	Konomtinga				OR13	Bilgo			○	SR20	Laro			○
BC16	Nagouma				OR14	Nédogo			○	SR21	Nanano			○
BC17	Toangha				OR15	Neogana			○	SR22	Ton			○
BC18	Yargo				OC01	Mokin			○	SR23	Kasso			○
BC19	Secteur n°3 (E)				OC02	Nioniogo				SR24	Nébiélanayou			○
BC20	Baloughin	×			OC03	Goughin				SR25	Sadon Nouna			○
BC21	Koagma	×			OC04	Kikilma				SR26	Bouri			○
BC22	Koankin				OC05	Likinkélé	×			SR27	Karabolé			○
BC23	Targo				OC06	Dié				SR28	Sadouan			○
BC24	Goghin				OC07	Pagatenga	×			SR29	Sadouin			○
BC25	Silmissin	×			OC08	Nayambé				SC01	Yallé	×		
BC26	Tanghin	×			OC09	Gantim	×			SC02	Néboum	×		
BC27	Zékounga				OC10	Don B.				SC03	Néto	×		
BC28	Zanguindissé	×			OC11	Tang - Zougou				SC04	Bouara			○
BC29	Secteur n°6 (Nédogo)				OC12	Nanoussi	×			SC05	Bon			
BC30	Timboé	×			OC13	Goundry	×			SC06	Passin			○
<b>GANZOURGOU</b>					OC14	Tabénga				SC07	Payiri	×		
GR01	Dawara		○		OC15	Zinguédéghin			○	SC08	Lan	×		
GR02	Pousghin	×			OC16	Tangséghin			○	SC09	Fara II			
GR03	Tanghin		○		OC17	Goupila	×		○	SC10	Bouzourou	×		
GR04	Koratingo	×			OC18	Bigtogo				SC11	Nanano			○
GC01	Ouayalghin	×			OC19	Koabin	×			SC12	Ton			○
GC02	Pousghin	×			OC20	Saalf				SC13	Ouhassan	×		
GC03	Boulwando			○	OC21	Saaba B.				SC14	Kayero	×		
GC04	Komsfogo			○	OC22	Koala (S-Dur)	×			SC15	Nadion	×		
GC05	Boalghin			○	OC23	Sandogo	×		○	SC16	Kasso			○
<b>MOUHOUN</b>					OC24	Damsi	×		○	SC17	Sadon Nouna	×		
MR01	Pié		○		OC25	Guéla				SC18	Kaharo	×		
MR02	Bolomakoté		○		OC26	Diguila	×			SC19	Kation			○
MR03	Dora		○		OC27	Manefyam				SC20	Baouiga			○
MR04	Boron		○		OC28	Tanghin	×			SC21	Nébrou			○
MR05	Labien		○		OC29	Geodogo			○	SC22	Poua			○
MR06	Sao		○		OC30	Ipala	×			SC23	Tiabien - Kasso			○
MR07	Secaco		○		OC31	Tamissi	×			SC24	Sadouin			○
MR08	Poura-village		○		OC32	Lango - Yango	×			SC25	Ladio	×		
MR09	Segou		○		OC33	Tanghin - Gombogo	×			SC26	Tiéssourou	×		
MR10	Fobiri		○		OC34	Betta			○	SC27	Lagalo			
MR11	Bandjo		○		OC35	Kouila								
					OC36	Moutti								
					OC37	Kolombon Sarogo								
					OC38	Lindi - Namassa	×							

a: 要請校リストにおいて、要請教室が0になっている学校

b: 既存バンコ教室の建替え

c: 1-2教室の増新築による正帯化

○: 最優先 ○: 優先 ×: 対象外

◎と×が重複した場合◎が優先

□: 現地調査予定校

< 現地調査対象校検討結果 (61校) >

RE.NO.	学校名	j	k	l	RE.NO.	学校名	j	k	l
<b>BAZEGA</b>					OC01	Mokin			
BR01	Sincéné		x		OC15	Zinguédéghin	△		
BR02	Masgo		x		OC16	Tangséghin			
BR03	Lilbouré (Lilbouri)				OC17	Goupila			
BR04	Napagabtenga-Gouguen (Napagbtin-Goughin)				OC23	Sandogo	△		
BR06	Nakombogo (Nacombogo)	△			OC24	Damsi	△		
BR07	Gouguen (Goughin)				OC29	Gongodo (Gondogo)	△	x	
BR08	Tama (Taama)				OC34	Betta		x	
BC03	Nakombogo (Nacombogo)	△			OAD1	Village - V3			○
BC04	Zéguédéguin		x		OAD2	Goue			○
BAD1	Doulougou			○	OAD3	Boulala			○
BAD2	Zangogo			○	OAD4	Moentenga			○
BAD3	Namyimi			○	OAD5	Loumbila			○
BAD4	Combissiri - Gana			○	OAD6	Gaske			○
<b>GANZOURGOU</b>					<b>SISSILI</b>				
GR01	Dawara		x		SR01	Yallé			x
GR03	Tanghin		x		SR02	Bon			x
GC03	Boulwando		x		SR03	Bouara	△	x	
GC04	Komséogo				SR04	Kéлиндou		x	
GAD1	Sapaga				SR05	Gao		x	
GAD2	Zorgo				SR06	Nevri			x
GAD3	Bolle				SR07	Ouayou		x	
GAD4	Rapadama - T				SR08	Passin	△	x	
					SR09	Péhiri (Payiri)			
					SR10	Kayéro			
					SR11	Sissily			x
					SR12	Baouiga	△		
					SR13	Nebourou (Nébrou)	△		
					SR14	Poun	△		
					SR15	Sapouy (Sapoury)			
					SR16	Tiabienkasso	△		
					SR17	Nabon			x
					SR18	Bazilakoa			x
					SR19	Bouzourou			x
					SR20	Laro			
					SR21	Nanano	△		
					SR22	Ton	△	x	
					SR23	Kasso	△	x	
					SR24	Nébiélianayou			x
					SR25	Sadon Nouna			
					SR26	Bouri			
					SR27	Karabolé			
					SR28	Sadouan			x
					SR29	Sadouin	△		
<b>MOUHOUN</b>					<b>SC</b>				
MR01	Fié (Pié)				SC04	Bouara	△		
MR02	Bolomakoté				SC06	Passin	△		
MR03	Dora				SC11	Nanano	△		
MR04	Boron				SC12	Ton	△		
MR05	Labien		x		SC16	Kasso	△		
MR06	Sao		x		SC19	Katiön			
MR07	Secaco				SC20	Baouiga	△		
MR08	Poura-village		x		SC21	Nebourou (Nébrou)	△		
MR09	Seyou (Segou)				SC22	Poun	△		
MR10	Fobiri				SC23	Tiabien - Kasso	△		
MR11	Bandio				SC24	Sadouin	△		
MC06	Kongoba		x		SAD1	Netiao			○
MAD1	Soukui			○	SAD2	Coumbiogoro			○
MAD2	Hankuy - B			○	SAD3	Vara			○
MAD3	Tierkou			○					
<b>OUBRITENGA</b>									
OR01	Sourgoubila								
OR02	Damsi	△							
OR03	Sandogo	△							
OR04	Goabga								
OR05	Zinguédoghin	△							
OR06	Seloghin								
OR07	Nioko I		x						
OR08	Gampéla		x						
OR09	Nambéguian		x						
OR10	Moutti								
OR11	Kolonkom		x						
OR12	Gongodo	△	x						
OR13	Bilgo								
OR14	Nédogo								
OR15	Nongana								

j: 「建替え」と「正常化」で重複要請されている学校

k: 要請後に建設の必要がなくなった学校

l: 従来時に視学官より新たに調査対象校として要請があった学校

○: 優先 △: 重複要請校 (重複校を1校としてカウントする) ×: 対象外

×と△が重複した場合×が優先

□: 現地調査対象校

## 〈 計画対象校検討結果 (40校) 〉

RE.NO.	学校名	s	t	u	RE.NO.	学校名	s	t	u
<b>BAZEGA</b>									
BR03	Lilbouré				OR05	Zinguédoghin		×	
BR04	Napagabtenga-Gouguen				OR06	Séloguen (Seloghin)			
BR06	Nakombogo				OR10	Moutti		×	
BR07	Gouguen		×		OR13	Bilgo			
BR08	Tama		×		OR14	Nédogo			
BAD1	Doulougou				OR15	Nomgana (Nongana)			
BAD2	Zangogo				OC16	Tangséghin		×	
BAD3	Namyimi				OC17	Goupila		×	
BAD4	Combissiri - Gana				OAD1	Village - V3			
<b>GANZOURGOU</b>									
GC04	Komséogo				OAD2	Goue			×
GAD1	Sapaga				OAD3	Boulala			
GAD2	Zorgo				OAD4	Moentenga			×
GAD3	Bollé (Bolle)				OAD5	Loumbila			
GAD4	Rapadama - T				OAD6	Gaske			×
					<b>SISSILI</b>				
					SR06	Nevri	×		
					SR09	Péhiri			
					SR10	Kayéro			
					SR12	Baouiga			
					SR13	Nébourou (Nebourou)			
					SR14	Poun			
					SR15	Sapouy			
					SR16	Tiabienkasso	×		
					SR20	Laro			
					SR21	Nanano			
					SR25	Sadon Nouna	×		
					SR26	Bouri		×	
					SR27	Karabolé			
					SR29	Sadouin			
					SC19	Katian (Kation)			
					SAD1	Netiao	×		
					SAD2	Coumbiogoro			
					SAD3	Vara	×		
<b>MOUHOUN</b>									
MR01	Fié	×							
MR02	Bolomakoté								
MR03	Dora								
MR04	Boron								
MR07	Sécaco (Secaco)								
MR09	Seyou								
MR10	Fobiri								
MR11	Bandio		×						
MAD1	Soukui								
MAD2	Hankuy - B								
MAD3	Tierkou		×						
<b>OUBRITENGA</b>									
OR01	Sourgoubila		×						
OR02	Damsi		×						
OR03	Sandogo	×							
OR04	Goabga								

s: アクセス不能

× : 対象外

t: 他ドナーにて校舎建設中、または建設済み

□ : 計画評価対象校

u: 新規開設予定校であり、校舎の現存していない学校

サイト調査表

(1) 学校敷地

学校名		No	
敷地所有者			
住所			

\*敷地所有者は、氏名または所有権登記簿類のコピーを提出願います。

(2) 人口・就学人口・教室数・就学率（学庄）

表2-1

区分	村落名	人口	小学校学令人口		教師数		教室数			就学年令児童数		就学児童数		就学率		卒業率	
			男	女	正教師	準	既存	建設中	計画	男	女	男	女	男	女		
			学校区														

表2-2 就学適令時児童数

年令	0		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14							
	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F	M	F						
人数																																				

表2-3 生徒数

	CP1	CP2	CE1	CE2	CM1	CM2
男						
女						
計						

(3) アクセス

場所	名前	距離	道路の整備状況 (舗装状況/幅員)	車によるアクセス	
				2t車	4t車
最寄りの主要都市			良・悪、幅員 m	可・不可	可・不可
最寄りの町			良・悪、幅員 m	可・不可	可・不可
最寄りの主要道路			良・悪、幅員 m	可・不可	可・不可



(4) 敷地

敷地面積		備考
形状	縦×横：	
既存構造物	有・無	
敷地の土質	岩石/砂/粘土/その他（ ）	
高低差	有・無	
敷地境界の状況	塀/判別可/不可	
風向き		
周辺の土地利用状況		
自然災害(洪水)記録		

(5) インフラ状況

調査項目	状況/条件	備考
水源	市水、井戸、雨水、河川水、無し	
電気	公共（ ）、自家発電、無し	
汚水処理	下水放流(位置/径)、浸透管、くみ取り、無し	
通信設備	電話、その他、無し	

(6) 水源

市水

距離	配管径	埋設深度	水圧	水量	ポンプの種類	受水槽	高架水槽

井戸

位置/距離	管径	深度	ポンプの種類	高度差	水位	建設年

河川水

距離	水量	水質	その他

(7) 既存建物の状況

施設所有者					
既存教室数	建設中建物	解体予定建物	未使用建物	利用可能建物	仮設建物

1) 計画対象教室が建替えの場合

使用開始年	
建替え対象教室の現状	屋根、構造、外装、換気、機材
現在その教室を使用している児童数・教師数	児童数： 人、教師数： 人
計画が実施された場合、旧教室の取り壊しの実施の有無	有・無
新教室建設中の仮設教室の建設のための体制と位置	

2) 計画対象教室が新規の場合

就学予定児童数と配置予定教師数	児童数： 人、教師数： 人
建設予定敷地の確保の有無	有・無

(8) 施設完成後の運営・維持管理体制、維持・管理費の予算措置

コメント：

(9) サイト周辺の地域裨益住民（PTA等）の施設運営・維持管理への参加

コメント：

(10) 他ドナー（NGOを含む）からの援助

実績（名称、年、数量、ドナー名等を記入）

援助内容	名 称	ドナー名	年 月 日	数 量	備 考
施 設					
教 材					
機 材					
給 食					

計 画

援助内容	名 称	ドナー名	計 画 年	数 量	備 考
施 設					
教 材					
機 材					
給 食					

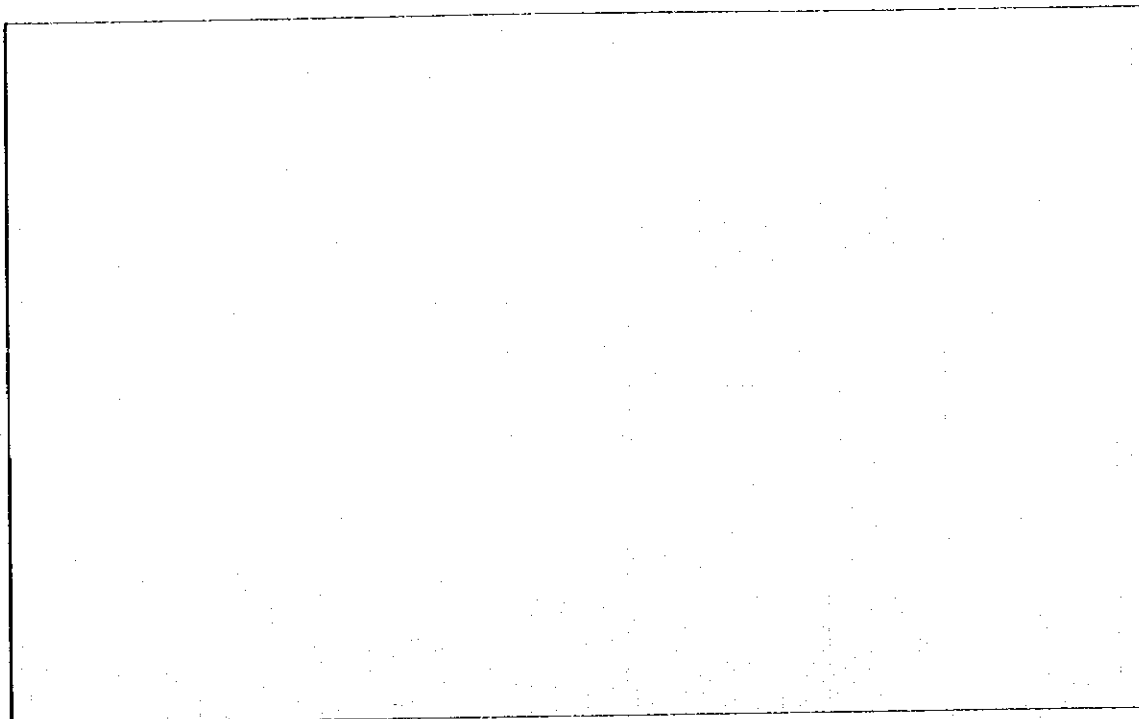
(11) 資機材および労務調達

調査項目	入手可能な近傍の町	備 考
資 機 材		
サブコントラクター		
労 務		

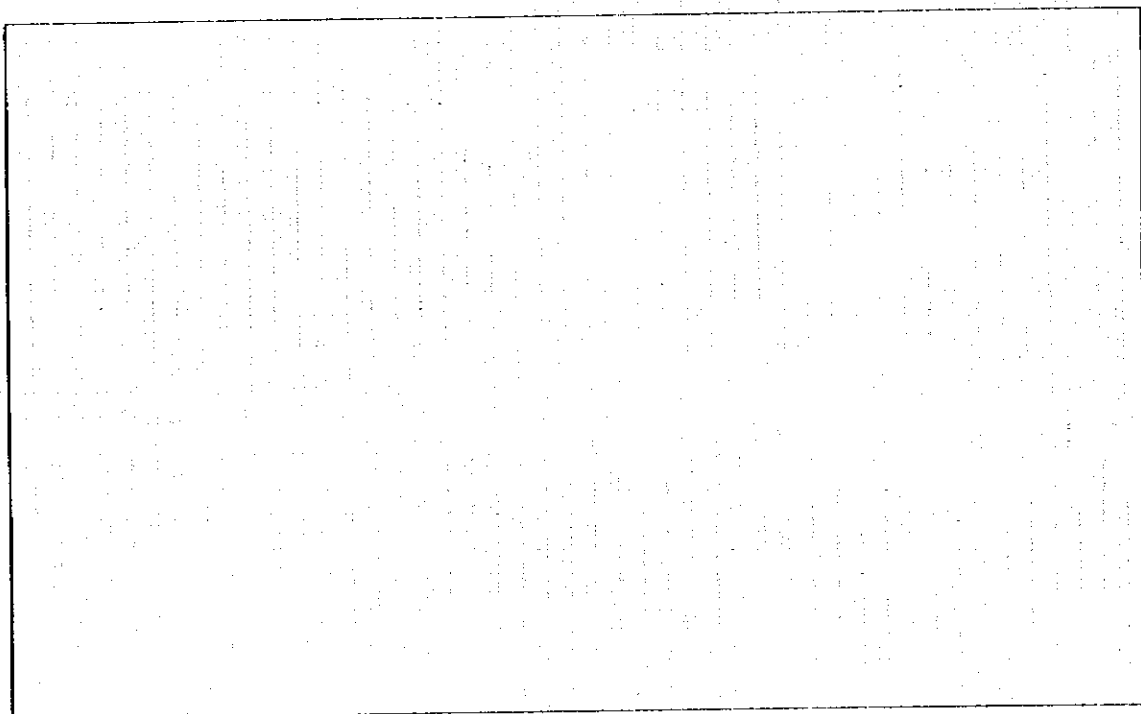
(12) 建設時の宿泊施設

調査項目	条 件	備 考
ホテル等 食 事 生活条件 安 全 性 そ の 他	有・無 有・町からの持ち込み 良い・悪い 良い・悪い	

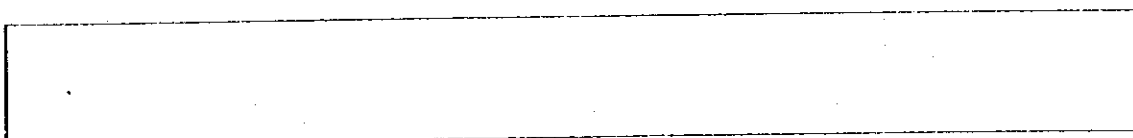
(13) 意見（教育省出先機関、地域コミュニティ（PTA等）、教師、NGO、その他）



(14) 敷地図（概念図）既存建物、敷地形状、高低差、エントランス方位等を記入



(15) 面接者名（氏名・肩書き）および日時、Sign



現場調査シート		調査日 年 月 日	担当班	Sheet No.					
REF.No.	学校名								
アクセス	アクセス状況	・車両により運搬可能である。 ・季節により運搬可能である。 ・運搬不可能である。							
	距離	・幹線道路 ( ) より ( ) Km ・ ( ) 町・村より ( ) Km							
サイト状況	土地所有権	・土地所有権が明確である。 ・土地所有権が不明確である。							
	面積	約 ha							
	敷地形状	・施設建設に適切である。 ・プロトタイプの検討により可能である ・不適切である							
	高低差	・フラットである。 ・高低差はあるが、施設建設に問題ない。 ・不適である							
	地質	・施設建設に適當である。 ・ボーリング調査等が必要である。 ・不適である							
施設概要	校舎 (棟)	棟-1			棟-2		棟-3		
		建設主体	・PTA ・他 ( )		・PTA ・他 ( )		・PTA ・他 ( )		
		建設年度	19		19		19		
		構造	・バンコ ・CB造 ・SB造 ・他		・バンコ ・CB造 ・SB造 ・他		・バンコ ・CB造 ・SB造 ・他		
		仕上屋根	・トタン折板 ・薬葺 ・他 ( )		・トタン折板 ・薬葺 ・他 ( )		・トタン折板 ・薬葺 ・他 ( )		
		壁	・バンコ ・モルタル ・CB表シ ・SB表シ ・他		・バンコ ・モルタル ・CB表シ ・SB表シ ・他		・バンコ ・モルタル ・CB表シ ・SB表シ ・他		
		床	・モルタル ・土 ・他		・モルタル ・土 ・他		・モルタル ・土 ・他		
		整備状況	・良好 ・補修を要する ・危険又は不衛生		・良好 ・補修を要する ・危険又は不衛生		・良好 ・補修を要する ・危険又は不衛生		
		教室数	教室		教室		教室		
		教員住宅 (棟)	棟-1			棟-2		棟-3	
	建設主体		・PTA ・他 ( )		・PTA ・他 ( )		・PTA ・他 ( )		
	建設年度		19		19		19		
	構造		・バンコ ・CB造 ・SB造 ・他		・バンコ ・CB造 ・SB造 ・他		・バンコ ・CB造 ・SB造 ・他		
	仕上屋根		・トタン折板 ・薬葺 ・他 ( )		・トタン折板 ・薬葺 ・他 ( )		・トタン折板 ・薬葺 ・他 ( )		
	壁		・バンコ ・モルタル ・CB表シ ・SB表シ ・他		・バンコ ・モルタル ・CB表シ ・SB表シ ・他		・バンコ ・モルタル ・CB表シ ・SB表シ ・他		
	床		・モルタル ・土 ・他		・モルタル ・土 ・他		・モルタル ・土 ・他		
	整備状況		・良好 ・補修を要する ・危険又は不衛生		・良好 ・補修を要する ・危険又は不衛生		・良好 ・補修を要する ・危険又は不衛生		
	キャンティーン		有 無	・有		・無			
			US AID	・有		・無			
		構造	・バンコ ・CB造		・SB造 ・他				
便所	有 無	・有		・無					
	構造	・バンコ ・CB造		・SB造 ・他					
	処理	・浸透式 ・他 ( )							
水源	種別	・井水 ・市水		・池 ・河川		・他 ( )			
	位置	・敷地内		・敷地外 ( Km)					
	井戸形式	・汲上げ		・ウイング		・足踏み ・不明			
電気供給	・有		・無						
同一サイトの同種計画の実施および計画	・有		・無						
就学可能人口	・男子 ( )		・女子 ( )		合計 ( )				
現生徒数							人		
学級	CP1	CP2	CE1	CE2	CM1	CM2	計		
男子									
女子									
計									
現任教員数							教員		
備考欄									









SITUATION DES ENGAGEMENTS AU 31/12/1993

IMPUTATIONS					INTITULES	DOTATION	ENGAGEMENTS	DISPONIBLE	DEPASSEMENT
T	S	G	A	PAR					
11	22				DEPENSES DE PERSONNEL				
		0			ENSEMBLE DES SERVICES				
			11		REMUNERATION DIRECTE				
				10	SOLDE IND+RESIDENCE	710859000	874918573		164062673
				20	IND DE FONCTION	114240000	109608000	4632000	
				30	IND DE SUJETION	752933000	983153100		230220100
				40	IND DE LOGEMENT	345421000	454812167		109391167
				60	AUTRES INDEMNITES	65630000	1253880	64376120	
			12		REMUNERATION DIRECTE DES CONTRACTUELS				
				10	SALAIRE DE BASE + PRIMES	14997000	21314236		6137236
				60	AUTRES INDEMNITES	499696000	499696000		
			21		REMUNERATION SOCIALES DES FONCTIONNAIRES				
				10	CONTRIBUTION PATRONALE CARFO	512220000	639918565		127698565
				20	ALLOCATIONS FAMILIALES	118179000	192848200		4569200
			22		REMUNERATION SOCIALES DES CONTRACTUELS				
				10	CONTRIBUTION PATRONALE CNSS	2774000	3323487		549487
			30		MESURES NOUVELLES				
				10	INTEGRATIONS STATUAIRES	373841000		373841000	
					TOTAL - DEPENSES DE PERSONNEL	9978490000	11656113508	442849120	2119292628
11	22				DEPENSES DE MATERIEL				
		0			ENSEMBLE DE SERVICES DU DEPART				
			10		MATIERES ET FOURNITURES CONSOM.				
				30	FOURNIT. COMPL. DES SERV. ALPH.	25000000	24999975	25	
				51	AUTRES MAT. ET FOURN. SPECIF.	240000000	239802207	197793	
			20		TRANSPORTS CONSOMMES				
				10	FRAIS TRANSPORT A L'INTERIEUR	2100000	501120	1598880	
				30	FRAIS TRANSPORT DEFINITIF	16000000	12726340	3273660	

IMPUTATIONS					INITIULES	DOTATION	ENGAGEMENTS	DISPONIBLE	DEPASSEMENT
V	S	C	A	PAR					
				31	ENTRETIEN ET REPARATION				
				21	REFECTION ECOLES ET LOG. MATR.	5000000	49997668	2332	
				22	REFECTION DES INSPECTIONS	25000000	24931439	964	
				23	REFECTION DIRECTIONS PROVINC.	15000000	14931439	68651	
				24	REFECTION SERVICES CENTRAUX	20000000	19958523	41477	
				33	FRAIS DIVERS ET AUTRES				
				30	FRAIS D'ORG. EX. ET CONCOURS	7373333000	73200300	93700	
				40	FRAIS DE COURS	8000000	6835000	1165000	
				50	ALPHABET. ET ENSEIGNEMENT	35000000	34038041	961959	
				61	FORMATION RECYCLAGE SND	10000000	10000000	0	
				62	FORMATION RECYCLAGE ENSEIGNANT	15000000	15000000	0	
				70	FRAIS DEPLACEMENT EXAMINATEURS ET PRESIDENTS DE JURY	12000000	12000000	0	
				34	MENUES DE PENSES				
				10	CAISSES DE MENUES DEPENSES	5000000	2350000	2650000	
					TOTAL DEPENSES DE MATERIEL	551433000	541378549	10054441	
V		22			TRANSFERTS COURANTS				
			0		ENSEMBLE DES SERVICES				
				21	ENEP DE LOUMBLA				
				10	PECULE DES ELEVES	145360000	145500000		120000
				20	TRANSPORT DES ELEVES	7000000	2595240	4404760	
				21	ENEP LOUMBLA				
				21	PHARMACIE	2500000	2499749	251	
				30	INVESTISSEMENTS	7500000	7002839	497162	
				32	CANTINES SCOLAIRES				
				40	ACHAT DENREES ALIMENTAIRES	84920000	84920000	0	
				50	MANUTENTION, TRANSP. EMBALLAGE	5080000	5080000	0	
				51	CHARGES RECURRENTES DES SERVICES D'ENS. ET ALPHA.				
				20	MATERIEL	22270000	22146708	123292	
				30	INVESTISSEMENT	8200000	8192609	7191	
				40	MANUTENTION	2000000	2000000	0	
					TOTAL TRANSFERTS COURANTS	284850000	279507344	5032656	120000

IMPUTATIONS					INTITULES	DOTATION	ENGAGEMENTS	DISPONIBLE	DEPASSEMENT
Y	S	C	A	PAR					
V	22				EQUIPEMENT - INVESTISSEMENT - TRANSFERTS EN CAPITAL				
		0			ENSEMBLE SERVICES DEPARTEMENT				
			10		CONSTRUCTIONS, INFRASTRUCTURES				
			10		CONSTRUCTIONS DES INSPECTIONS	15000000	15000000	0	
			20		MATERIAUX DE CONSTRUCTION	10000000	9973885	26015	
			20		ACQUISITION D'EQ. TECHNIQUES				
			10		EQUIPEMENT TECHNIQUE INA	25000000	24844542	155458	
			20		EQUIPEMENT ATELIER MENUISERIE	5000000	4990475	9525	
			30		ACQUISITION MACHINE DE BUREAU	26000000	25998890	110	
			40		ACQUISITION MOBILIER DE BUREAU	12000000	11992775	7225	
			30		EQUIPEMENTS SCOLAIRES				
			10		ACHAT DE TABLES BANCS	120000000	119975000	25000	
			20		ACHAT MATERIEL DIDACTIQUE ET PEDAGOGIQUE	198000000	197899119	881	
			30		ACHAT DE BUREAU, CHAISES, ARMOIRES POUR MATHRES	50000000	49437930	562070	
			40		EQUIPEMENT 30 CENTRES D'ALPHABETISATION				
			20		FOURNITURES MATERIEL DIDACTIQUE	50000000	49972632	27368	
			51		PROJET EDUCATION III				
			10		RESTRUCTURATION FORM. ENSEIG.	3075000	3075000	0	
			20		ELABORATION ET ACHAT MANUEL SCOLAIRE	600000	600000	0	
			30		PROVISION EQUIPEMENT SCOLAIRE	3600000	3600000	0	
			41		FONCTIONNEMENT	1575000	1575000	0	
			42		APPUI INSTITUTIONNEL	14064000	14064000	0	
			52		PROJET EDUCATION IV CONSTRUCTION				
			10		ACHAT DE MATERIAUX POUR 270 CLASSES	455940000	444482317	11457683	
			20		EQUIPEMENT POUR 270 CLASSES	243000000	242966882	33118	
			30		INTERESSEMENT DES MATHRES AUX INNOVATIONS PEDAGOGIQUES	71400000	22460000	48940000	

IMPUTATIONS					INTITULES	DOTATION	ENGAGEMENTS	DISPONIBLE	DÉPASSEMENT
T	S	C	A	PAR					
			53		PROJET EDUCATION IV (CR- 2244 BF)				
					10 MANUELS ET MAT. PEDAGOGIQUES	390000	390000	0	
					20 FORMATION DES MATTRES	630000	630000	0	
					31 RENFORCEMENT GESTION INSPECT.	2220000	48940000	0	
					33 SYSTEME D'EVALUATION	270000	270000	0	
					34 SCOLARISATION DES FILLES	930000	930000	0	
					41 DEP/MEBAM	60000	60000	0	
					42 DIRECTION PROJETS EDUCATION	5100000	5100000	0	
					43 DEP/DOB	60000	60000	0	
					44 FORMATION ENSEIG. SECONDAIRE	690000	690000	0	
			54		PROJET BID DE CONSTRUCTION EQUIPEMENT DE 85 ECOLES ET 85 LOGEMENTS				
					10 PERSONNEL	4235000	4235000	0	
					20 FRAIS DE FONCTIONNEMENT	10550000	10550000	0	
					30 EQUIPEMENT COMPLEMENTAIRE	4450000	4450000	0	
			55		PROJET OPEP DE CONSTRUCTION DE 273 SALLES DE CLASSES				
					11 SALLES DE CLASSES	5759000	5759000	0	
					20 INVESTISSEMENT	8800000	8800000	0	
					TOTAL TITRE VI	1348398000	1267153547	61244453	
					TOTAL MEBAM	12163171000	13763583048	519180670	2119412628

BUDGET FISCAL  
MINISTRE ENS. DE BASE & ALPH. MA.

MINISTRE ENS. DE BASE & ALPH. MA.

SITUATION DES ENGAGEMENTS

Tit/Chap/Art.	Para	Nature de la dépense	Dotation	Engagements	Disponible	Dépassement	Taux d'exécution
2	00	00	2,241,318,000	8,034,560,110	205,777,890		97.92 %
2	00	10	134,000,000	105,329,500	27,570,400		79.35 %
2	00	11	863,586,000	516,418,500	52,920,300		59.12 %
2	00	12	509,684,000	475,806,000	30,872,000		93.35 %
2	00	13	2,568,000	227,835,722	225,267,722		8,972.12 %
2	00	14	22,027,000	17,425,584	4,601,416		79.11 %
2	00	15	395,000	395,000	100,000		100.00 %
2	00	16	2,298,000	1,560,000	648,000		70.45 %
2	00	17	1,260,000	1,000,000	120,000		79.37 %
2	00	18	616,300,000	588,711,882	23,257,118		95.42 %
2	00	19	211,039,000	175,265,500	31,772,400		83.03 %
2	00	20	3,200,000	3,203,532	554,356		93.53 %
2	00	21	545,147,000	307,837,217	339,310,000		56.46 %
2	00	22	127,000,000	103,480,300	2,519,700		81.51 %
2	00	23	209,500,000	199,923,470	3,576,530		95.43 %
2	00	24	11,555,022,000	11,246,752,717	591,317,905	270,089,622	51.33 %
2	00	25	11,555,022,000	11,246,752,717	591,317,905	270,089,622	51.33 %
3	10	51	49,300,000	48,213,165	86,835		99.92 %
3	10	52	20,700,000	20,581,312	18,508		99.91 %
3	10	53	15,550,000	15,416,850	1,683,750		93.45 %
3	10	54	49,580,000	49,618,721	1,279		100.00 %
3	10	55	34,500,000	31,242,575	3,257,425		99.55 %
3	10	56	2,208,000	1,840,000	368,000		83.33 %
3	10	57	1,932,000	1,932,000			100.00 %



SITUATION DES ENGAGEMENTS

Chapitre	Fonction	Montant de la dépense	Dotation	Engagements	Disponibles	Dépassement	Taux d'exécution
3	10 34 10	CHARGES DE MENUES DEPENSES	1,495,000	550,000	935,000		37.04 %
3	10	SOUS TOTAL MENUES	175,355,000	459,626,023	9,755,257	0	35.72 %
3	20 10 50	FOURNITURES COMMERCEMENTALES DES MATIERES APPLICABLES	34,500,000	34,500,000	49,225		32.52 %
3	20 10 50	MATIERES APPLICABLES	235,517,000	235,517,000	144,000		100.00 %
3	20 20 20	PREMIER TRIMESTRE A L'EGRÈS	1,000,000	35,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	SECONDE TRIMESTRE	10,500,000	17,000,000	1,000,000		75.12 %
3	20 20 20	TROISIEME TRIMESTRE	10,500,000	17,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	QUATRIEME TRIMESTRE	99,700,000	99,700,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	PREMIER TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	SECONDE TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	TROISIEME TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	QUATRIEME TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	PREMIER TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	SECONDE TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	TROISIEME TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	QUATRIEME TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	PREMIER TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	SECONDE TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	TROISIEME TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20 20 20	QUATRIEME TRIMESTRE	10,000,000	10,000,000	1,000,000		100.00 %
3	20	SOUS TOTAL MENUES	547,933,000	640,928,587	6,984,413	0	98.92 %
3		SOUS TOTAL TITRE	823,278,000	810,542,619	12,735,380	0	99.45 %
4	00 21 10	RECOURS DES BUIVES	183,440,000	113,332,800	68,107,200		52.45 %
4	00 21 20	TRANSPORT DES BUIVES	9,650,000	5,022,700	4,637,300		51.99 %
4	00 31 21	PHARMACIE JURY	2,500,000	1,750,546	750,000		70.43 %
4	00 31 22	LABORATOIRE	10,000,000	8,025,967	2,323,333		77.55 %
4	00 32 10	AGENTS DE SERVICE	130,000,000	130,000,000	130,000,000		100.00 %
4	00 32 30	MAINTIEN DU TRANSPORT / ENCA	5,532,000	5,532,000	5,532,000		100.00 %
4	00 32 30	MATRIEL	32,775,000	32,769,323	23,675		95.95 %
4	00 32 30	MATRIEL	2,000,000	2,000,000	2,000,000		100.00 %
4	00 32 30	PROFESSEUR	132,344,000	132,344,000	132,344,000		100.00 %
4	00 32 30	SUBVENTION POUR MATRIEL AGRIC-	1,040,000,000	5,935,955,357	4,043,643		99.62 %
4	00	SOUS TOTAL MENUES	1,267,951,000	1,767,725,195	79,255,905	0	93.59 %
4		SOUS TOTAL TITRE	1,267,951,000	1,767,725,195	79,255,905	0	93.59 %
6	00 10 10	PROJET EDUCATION XV	25,373,000	25,373,000			100.00 %

06/10/99

BURKINA FASO

=====

MINISTRE ENCH. DE BASE & ALPH. MA.

SITUATION DES ENGAGEMENTS

Tit. Chap. Art.	Para	Nature de la dépense	Dotation	Engagements	Liquidations	Dispo/Engagement	Dispo/Liquidat'	Dépassement	Tx EXEC (Eng/Dot.)
2 00	11	10	10,025,287,000	9,512,494,306	66,587,055	512,792,694	9,445,907,251		94.89 %
2 00	11	20	151,068,000	37,067,808	0	114,000,192	37,067,808		24.54 %
2 00	11	30	1,079,663,000	294,812,520	0	784,850,480	294,812,520		27.31 %
2 00	11	40	658,047,000	476,963,380	0	181,083,620	476,963,380		72.48 %
2 00	11	60	255,324,000	3,287,520	0	252,036,480	3,287,520		1.29 %
2 00	12	10	21,457,000	1,401,000	95,750	20,056,000	1,305,250		6.53 %
2 00	21	10	736,017,000	691,354,976	0	44,662,024	691,354,976		93.93 %
2 00	21	20	191,135,000	272,464,000	0		272,464,000	81,309,000	142.54 %
2 00	22	10	3,970,000	212,568	0	3,757,432	212,568		5.35 %
2 00	30	10	258,534,000	0	0	258,534,000			0.00 %
2 00		SOUS TOTAL CHAPITRE	13,380,522,000	11,290,058,076	66,582,805	2,171,772,922	11,223,375,273	81,309,000	84.38 %
2 00		SOUS TOTAL TITRE	13,380,522,000	11,290,058,076	66,582,805	2,171,772,922	11,223,375,273	81,309,000	84.38 %
3 10	10	51	50,000,000	50,890,718	15,390,218		35,500,440	890,716	101.78 %
3 10	31	20	24,000,000	24,645,144	22,246,255		2,398,889	645,144	102.69 %
3 10	33	40	17,000,000	17,517,500	8,865,000		8,652,500	517,500	103.04 %
3 10	33	50	50,000,000	40,613,060	0	9,386,940	40,613,060		81.23 %
3 10	33	62	35,000,000	22,500,000	0	12,500,000	22,500,000		64.29 %
3 10	33	63	2,500,000	2,500,000	0		2,500,000		100.00 %
3 10	33	70	2,200,000	2,200,000	0		2,200,000		100.00 %
3 10	34	10	1,100,000	349,700	0	750,300	349,700		31.79 %
3 10		SOUS TOTAL CHAPITRE	181,800,000	161,716,122	46,501,533	22,637,240	114,714,589	2,052,362	98.68 %
3 20	10	20	20,000,000	12,420,000	12,420,000	7,580,000			62.10 %
3 20	10	50	270,000,000	257,830,000	0	12,170,000	257,830,000		95.49 %



## SITUATION DES ENGAGEMENTS


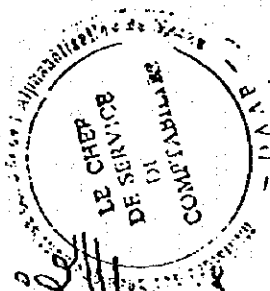
Tit Chap Art.	Para	Mature de la Dépense	Dotation	Engagements	Liquidations	Dispo/Engagemt	Dispo/Liquidat'	Dépassement	Tx EXEC (Eng/Doc)
3	20	30	FRAIS DE TRANSPORT DEFINITIF	19,361,876	8,720,653	638,124	10,641,223		96.81 %
3	20	31	REFECTION DES ECOLES ET LOGEME	95,759,258	17,893,357	4,240,742	77,865,901		95.76 %
3	20	31	REFECTION DES INSPECTIONS	25,330,511	1,333,335	19,669,489	23,997,176		56.29 %
3	20	31	REFECTION DES DIRECTIONS PROVI	7,305,636	0	16,694,364	7,305,635		30.44 %
3	20	33	FRAIS ORGANISATION DES EXAMENS	89,994,943	0	5,057	89,994,943		99.99 %
3	20	33	FRAIS DE DEPLACEMENT DES PRESI	103,217,418	0	6,782,582	103,217,418		93.83 %
3	20	34	CRISSES DE VENUES DEPENSES	2,650,000	0	5,850,000	2,650,000		31.13 %
3	20		SOUS TOTAL CHAPITRE	613,869,642	40,367,345	73,630,358	572,502,297	0	89.29 %
3			SOUS TOTAL TITRE	775,085,764	86,868,878	96,267,598	688,216,886	2,053,362	-89.16 %
4	00	10	PEUPLE DES ELEVES	—	98,046,000	156,984,000	45,270,000		47.72 %
4	00	20	TRANSPORT DES ELEVES	10,325,680	3,864,464	8,700,000	6,461,216	725,680	107.56 %
4	00	30	TROUSSEAU ELEVES MAITRES 9 PRO	8,700,000	8,700,000	0	0		100.00 %
4	00	40	PEUPLES SFD	691,341,600	5,717,665	17,101,779	691,341,600	324,441,600	188.43 %
4	00	31	MATERIEL	12,898,271	2,034,552	1,965,448	7,180,555		42.99 %
4	00	31	PHARMACIE	2,034,552	2,034,552	0	0		50.86 %
4	00	31	CANTINES	11,260,257	0	8,739,743	11,260,257		56.30 %
4	00	31	DIVERS MANUTENTION	2,000,000	0	140,000,000	2,000,000		100.00 %
4	00	32	ACHAT DE DEGREE ALIMENTAIRE	140,000,000	0	0	0		0.00 %
4	00	32	MANUTENTION/TRANSPORT/ENBALLAG	5,900,000	5,900,000	0	5,900,000		100.00 %
4	00		SOUS TOTAL CHAPITRE	887,776,310	118,362,682	324,790,970	769,413,628	325,167,280	100.04 %
4			SOUS TOTAL TITRE	887,776,310	118,362,682	324,790,970	769,413,628	325,167,280	100.04 %
6	00	30	CONSTRUCTION DES INSPECTIONS P	35,000,000	0	35,000,000			0.00 %

MINISTRE ENS. DE BASE & ALPE. MA.

SITUATION DES ENGAGEMENTS

Tit Chap Art.	Para	Nature de la Dépense	Dotation	Engagements	Liquidations	Dispo/Engagement	Dispo/Liquidat'	Dépassement	Tx EXAC (Eng/Dot)
6 00 10	40	INTERESSEMENT AUX INNOVATIONS P	135,200,000	135,200,000	207,800,000				100.00 %
6 00 10	50	PROJET EDUCATION IV	17,608,000	17,608,000	0		17,608,000		100.00 %
6 00 10	60	APPUI AUX CRAF	69,000,000	16,846,856	0	52,153,144	16,846,856		24.42 %
6 00 20	10	ACQUISITION MACHINES DE BUREAUX	11,000,000	5,732,405	4,858,750	5,267,595	873,655		52.11 %
6 00 20	20	EQUIPEMENT INA	20,000,000	10,431,690	0	9,568,310	10,431,690		52.16 %
6 00 20	30	ACHATS DE TABLES BANC	110,000,000	95,012,319	0	14,987,681	95,012,319		86.37 %
6 00 20	40	ACHAT DE BUREAUX CHAISES ARMOI	50,000,000	48,449,647	0	1,550,353	48,449,647		96.90 %
6 00 20	50	ACQUISITION MATERIEL PEDAGOGIQ	200,000,000	190,294,525	50,025,000	9,705,475	140,289,525		95.15 %
6 00 20	60	MATERIAUX DE CONSTRUCTION ET R	30,000,000	23,507,825	4,237,750	6,492,175	19,270,075		78.36 %
6 00		SOUS TOTAL CHAPITRE	677,808,000	543,083,267	261,921,500	0	348,761,767	0	80.12 %
6		SOUS TOTAL TITRE	677,808,000	543,083,267	261,921,500	134,724,733	348,761,767	0	- 80.12 %
		TOTAL MINISTERE	15,815,030,000	13,496,003,419	533,835,865	2,727,556,223	13,029,767,554	408,529,642	- 85.34 %

OUAGADOUGOU le, 06/10/91

P. Ig D.A.A.P. P.2  
*Le Comptable*  
  
 Smeura Pelere  


<MEBAM>

1. FORMULAIRE DE DEMANDE POUR UN DON JAPONAIS
2. TRANCHE COMPLEMENTAIRE CONSTRUCTIONS SCOLAIRE PE IV FINANCEMENT IDA  
DOCUMENT D'APPEL D'OFFRES AOUT 1995
3. TRANCHE COMPLEMENTAIRE CONSTRUCTIONS SCOLAIRES PE IV FINANCEMENT IDA  
DOCUMENT D'APPEL D'OFFRES DECEMBRE 1995
4. EDUCATION DE BASE POUR TOUS CADRE D'ACTION
5. PROJET ECOLES SATELLITES ET CENTRES D'EDUCATION DE BASE NON FORMELLE
6. L'ENSEIGNEMENT DE BASE ET L'ALPHABETISATION
7. PROJET DE CONSTRUCTION DE 73 COMPLEXES SCOLAIRES EN ZONES RURALES PE IV/  
RAPPORT D'EXECUTION No.01
8. PROJET DE CONSTRUCTION DE 73 COMPLEXES SCOLAIRES EN ZONES RURALES PE IV/  
RAPPORT D'EXECUTION No.05
9. DOCUMENT D'APPEL D'OFFRES FOURNITURE DE MALLETTES PEDAGOGIQUES AUX  
GROUPES D'ANIMATION PEDAGOGIQUES DU MEBAM

<DEP>

1. QUESTIONNAIRE I の解答
2. QUESTIONNAIRE II の解答
3. MEBAM BUDGET 1993,1994,1995
4. MEBAM 組織図
5. 小学校年間予定表
6. 大臣名簿、政府機構
7. 各省の機能
8. COMPLEXEの見積書

<DFIPPE>

1. Project IV 予算書

2. NOUVEAUX PROGRAMMES D'ETUDE POUR LES ENEP

<BPE>

1. RAPPORT D'EVALUATION BURKINA FASO QUATRIEME PROJET EDUCATION

<INSD>

1. ANNUAIRE STATISTIQUE DU BURKINA FASO 1993

<MINISTERE DE L'ACTION SOCIALE ET DE LA FAMILLE>

1. PROGRAMME DE REHABILITATION DES MINISTERE DE L'ACTION INFRASTRUCTURES SOCIALES DEGRADEES SUITE AUX INONDATION DE 1994

<MINISTERE DU PLAN ET DE LA COOPERATION>

1. RECENSEMENT GENERAL DE LA POPULATION 1985

<MINISTERE DES ENSEIGNEMENTS>

1. GUIDE DE L'ETUDIANT SECONDAIRE, SUPERIEUR ET DE LA RECHERCHE SCIENTIFIQUE

<その他>

1. DEUXIEME PLAN QUINQUENNAL DE DEVELOPPEMENT POPULAIRE 1991-1995/  
VOLUME I / PRESENTATION GENERALE
2. DEUXIEME PLAN QUINQUENNAL DE DEVELOPPEMENT POPULAIRE 1991-1995/  
VOLUME II / POLITIQUES ET PROGRAMMES SECTORIELS
3. DEUXIEME PLAN QUINQUENNAL DE DEVELOPPEMENT POPULAIRE 1991-1995/  
VOLUME III / POLITIQUES ET PROGRAMMES SECTORIELS
4. DECOUVERTES DU BURKINA







JICA